令和４年度　事業報告書

10 月 19 日（水）　　日帰りゼミ　　日本平動物園にて

社会福祉法人　遠州仏教積善会

救護施設　　**慈　照　園**

〒432-8023　静岡県浜松市中区鴨江三丁目４番３号

電話　(053)452-3069
FAX　(053)452-3074
URL　http://jishoen.jp
E-mail　info@jishoen.jp

目　次

頁

社会福祉法人遠州仏教積善会　法人本部事業報告

1. 理念・・・

社会福祉法人 遠州仏教積善会 法人本部事業報告

1.理念

社会福祉法人 遠州仏教積善会は、『慈悲』と『寛容』の精神をもって、明治 45 年に「遠州保護会」を創設し、大正 10 年に「財団法人 遠州仏教積善会」と法人格を持つ組織に改め、さらに昭和 27 年に社会福祉事業法（当時）に基づく「社会福祉法人 遠州仏教積善会」に組織変更した法人です。私たちは、『多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を営むことができるよう支援する』ように健全な経営に取り組みます。

2. 令和4年度の振り返り

平成 29 年に策定し令和 4 年 6 月に変更承認された福祉充実計画に基づき、増改築を進めた。隣接民有地の購入が進展しなかったため、既存の土地を活用した増改築計画に見直しをし、建築資材高騰も考慮して設計変更し、令和 3 年度に入札契約着工した第 1 期増改築工事について、令和4年 4 月 27 日に完工し引き渡しされた。

さらに第 2 期増改築工事について、令和 4 年 12 月 19 日に入札を実施し、落札した中村建設株式会社と契約締結して、令和 5 年 1 月 9 日工事に着手した。 完成予定は同年 8 月 31 日である。

工事の遅延により支払いが 5 年度に繰り延べられたため、社会福祉充実計画を令和 4 年 6 月に変更し、計画 6 か年目とし充実残額を増改築工事費用に充てた。

また「地域における公益的な取組」として、生活困窮者支援において、慈照園が就労訓練事業所の認定を受けているが、本年度の利用は無かった。

3.「地域における公益的な取組」

令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

取組類型コード分類	取組の名称	取組内容	結果
地域の要支援者に対する相談支援	生活困窮者支援	就労訓練事業所の認定を受け、就労支援に取り組んだ。	就労訓練受け入れは無し。
地域の要支援者に対する相談支援	生活困窮者支援	施設退所者に対する自立相談支援を実施した。	本報告書 31 ページ参照
地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援	地域に向けた事業展開	サロン活動をとおして、地域住民の居場所づくりに取り組んだ。	感染対策のため地域住民招待は通所事業利用者限定。本報告書 42 ページ参照
既存事業の利用料の減額、免除	既存事業の利用料の減額、免除	保護施設通所事業において、一部の非措置者に対し事務費免除。	本報告書 30・31 ページ参照。
地域住民に対する福祉教育	実習生の受け入れ	実習生の受け入れによる福祉人材の育成	本報告書 28 ページ参照
地域の関係者とのネットワークづくり	DWAT への職員派遣	静岡県クラスター福祉施設支援チーム（DWAT）職員登録。	派遣要請は無し。本報告書 25 ページ参照
地域の関係者とのネットワークづくり	地区社協の活動への支援	地区社協家事支援事業への利用者職員参加協力登録。	派遣要請は無し。本報告書 28 ページ参照

4. 令和4年度 社会福祉法人遠州仏教積善会 評議員・理事・監事の会議開催状況

年月日	会議名	場所	内容	出席人数
口 4 年 26 日（木）	監事監査	慈照園	・令和3年度 本部・施設事業会計監査	監事 2 名 理事 2 名
口 4 年 3 日（金）	第 1 回 理事会	慈照園・ 一部オンライン	1. 令和 3 年度 事業報告書（案） 2. 令和 3 年度決算書（案）及び監事監査報告 3. 社会福祉充実計画の変更 4. 評議員会の招集 5. 慈照園園舎の増改築第二期工事 職務執行状況報告	理事 6 名 監事 2 名
口 4 年 28 日（金）	評議員会	慈照園・ 一部オンライン	1. 令和 3 年度決算書の承認 2. 社会福祉充実計画の変更の承認 令和 3 年度事業報告、慈照園園舎の増改築	評議員 8 名 理事 2 名 監事 2 名
口 4 年 28 日（火）	第 2 回 理事会	慈照園・ 一部オンライン	1. 慈照園園舎の増改築第二期工事について	理事7名 監事 2 名
口 4 年 27 日（火）	第 3 回 理事会	慈照園・ 一部オンライン	1. 令和 4 年度補正予算（案） 2. 就業規則の一部改定 3. 正規職員給与規程の一部改定 4. 育児・介護休業規程の一部改定 5. 慈照園園舎の増改築工事 6. 当直勤務者服務規程の一部改定 職務執行状況報告	理事7名 監事 1 名
口 4 年 月 31 日（月）	監事 中間監査	慈照園	・令和 4 年度上半期分 本部・施設事業会計中間監査	監事 2 名 理事 2 名
口 4 年 月 29 日（金）	第4回 理事会	決議の省略	1. 慈照園第二期増築工事の資金調達計画 2. 評議員会の決議の省略	理事7名 監事 2 名
口 4 年 月 22 日（火）	評議員会	決議の省略	1. 慈照園第二期増築工事の資金調達計画	評議員 8 名 監事 2 名
口 4 年 月 26 日（月）	第 5 回 理事会	決議の省略	3. 慈照園第二期増築工事の契約	理事7名 監事 2 名
口 5 年 24 日（火）	第 6 回 理事会	慈照園・ 一部オンライン	1. 令和 4 年度補正予算（案） 2. 正規職員給与規程の一部改定 3. 令和 5 年度慈照園給食業務委託業者の選定 4. 役員賠償責任保険の契約 5. 慈照園園舎の第二期増築工事 職務執行状況報告	理事 7 名 監事 2 名
口 5 年 29 日（火）	第 7 回 理事会	慈照園・ 一部オンライン	1. 令和 4 年度補正予算書（案） 2. 就業規則の一部改定（案） 3. 契約職員等就業規則の一部改定(案) 4. 育児・介護休業規程の一部改定（案） 5. 令和 5 年度事業計画書（案） 6. 令和 5 年度資金収支予算書（案） 7. 役員賠償責任保険の契約 8. 慈照園園舎の増改築第二期工事 職務執行状況報告	理事 4 名 監事 1 名

5. 平成29年度～令和４年度　社会福祉法人遠州仏教積善会　社会福祉充実計画　進捗状況

１．基本的事項

評議員会の承認年月日			令和４年６月２８日（変更承認）						
会計年度別の社会福祉充実残額の推移（単位：円）		残額総額（平成 29 年度末現在）	１か年度目（平成 29 年度末現在）	２か年度目（平成 30 年度末現在）	３か年度目（令和元年度末現在）	４か年度目（令和 2 年度末現在）	５か年度目（令和 3 年度末現在）	6 か年度目（令和 4 年度末現在）	合計
	計画	123,490,000	98,410,000	106,570,000	89,820,000	59,000,000	19,000,000	0	
	実績		98,846,251	106,570,000	89,820,000	59,000,000	19,000,000	0	
うち社会福祉充実事業費（単位：円）	計画		21,443,749	150,000	162,000	39,272,000	33,420,000	19,000,000	113,44
	実績		21,443,749	150,000	162,000	39,272,095	33,420,000	19,000,000	113,44

２．令和４年度　事業計画及び実績

時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	事業費(円)	
					計画	実績
６か年度目	慈照園増改築事業	社会福祉事業	既存	サービス向上のために、第 1 期工事として①慈照園利用者浴場を拡張、②慈照園居室研修室一部改修、③職員増及び IT 化に対応するための介護職員室移設、④災害感染対策のためのトイレ・倉庫改修等を行い、第 2 期工事として①居室増築、②医務室静養室改修を行う。	121,000,000	88,360,000
	小計				121,000,000	88,360,000

３．事業の詳細（令和４年度実績）

事業名	慈照園増改築事業	
事業の実施時期	平成２９年８月１日～令和５年３月３１日	
事業内容	サービス向上のために、第 1 期工事として①慈照園利用者浴場を拡張、②慈照園居室研修室一部改修、③職員増及び IT 化に対応するための介護職員室移設、④災害感染対策のためのトイレ・倉庫改修等を行い、第 2 期工事として①居室増築、②医務室静養室改修を行う。	
事業の実施スケジュール	５か年度目	建築資材高騰のため増築を延期し、第 1 期工事として、①1 階倉庫改修、②２階地域交流室トイレ改修、③２階介護職員室改修、④３階研修室改修、⑤３階洗濯室改修、⑥３階介護職員室改修、⑦食堂・玄関・喫煙所雨漏り改修を行った。令和 4 年 5 月 31 日竣工。 第 2 期工事として、①居室増築、②医務室静養室改修等について、令和 4 年 12 月 19 日入札、12 月 28 日契約、令和 5 年 1 月着工をした。令和 5 年 10 月 31 日完成予定。
事業費実績	第１期工事費用　18,240,000 円（竣工時） 追加変更工事費　2,200,000 円 工事監理業務料　1,925,000 円 第 2 期設計業務料　2,090,000 円 第 2 期工事費用　63,905,000 円（契約時、中間時）	
	合計	88,360,000 円（うち社会福祉充実残額充当額 19,000,000 円）

救護施設　慈照園　事業報告

1. 事業の目的

生活保護法第38 条による「救護施設」です。心身に障害や疾病を持ち、独力で生活することが困難な人たちに、日常生活に必要な援助及び介助・作業・リハビリ等に加え、居宅訓練事業を通じて、自立できるよう支援をし、さらに就労や社会参加、地域生活への移行の支援をすることを目的としています。

「自立」とは、就労等による「経済的自立」、自分で自分の健康・生活管理を行う「日常生活自立」、社会的なつながりを回復・維持し地域社会の一員として充実した生活を送る「社会生活自立」を含んだものです。

2. 令和4年度事業方針

・組織体制を整備し、業務遂行体制を強化する。
・新型コロナウイルス感染予防対策をとり、感染者発生想定訓練を実施する。
・6月までに個別支援計画を完成させる。必要時・設定時にモニタリングを実施する。個別支援計画を軸とした支援体制の構築をはかる。
・新型コロナウイルス感染状況にあわせ、行事等を創意工夫して実施する。
・大規模増改築を安全に施工し、利用者・職員の利便性を高め、利用者の個別支援の推進をはかる。
・地域貢献活動として通所事業および独自事業を充実させる。
・サービス向上のため、職員の研修等を通じ資質向上を図る。

【事業内容】

◆　安心安全な毎日のために

日常生活支援　個別支援計画に基づき、衣食住の環境を整え、健康に生活を送る支援をします。

◆生き生きとした毎日のために

日中活動支援　お一人おひとりの能力や適性を活かし、園内外での作業やクラブ活動等を通じて心豊かに社会参加する支援をします。

◆　将来に向かって

地域移行支援　多くの方が持つ「アパートで暮らしたい」という願いを実現するため、入所中より地域移行に向け、地域生活に必要な「ごはん、おかね、くすり」の自己管理を段階的に進め、自立支援をします。

居宅生活訓練事業　地域生活を送るために、まずアパートで単身生活を送る練習をします。

◆地域生活継続のために

通所事業　退所者等が地域社会での安定した自立生活を送れるように、通所・訪問・交流会等の支援をします。

【重点事業項目】

1. 組織体制の整備・再編　業務遂行体制の強化
2. 個別支援計画に基づく支援
3. 地域移行支援・地域貢献活動の強化
4. 職場環境改善
5. 施設整備

3. 令和4年度の振り返り

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策として、リスクマネジメント委員会を中心に、日常生活上での体調チェック、三密回避、手洗い消毒、換気、外出面会制限等の感染対策を実施した。「浜松市保護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策等事業費補助金」の交付や厚労省はじめ各機関の支援を受けて、必要な資材の準備や希望者のワクチン接種などを進めた。

利用者・職員・各関係者の努力・協力により、感染者発生時にはゾーニングを行い、感染拡大に努めた。疥癬や湿疹を発症した利用者が多く、清潔保持の生活習慣定着に力を入れた。

行事等についても、中止や開催方法の再検討がなされ、感染が落ち着いている時には日中活動や日曜外出等を行った。園内作業の業者開拓により取引先が増え、下請け作業が増加した。農園作業や自主製品作製等日中活動に取り組んだ。

一方、全国救護施設協議会より、「赤い羽根福祉基金」による救護施設先駆的実践シェア事業の助成をいただき、「地域サロン事業と農地を活用した施設利用者の活動」を実施した。「コーヒーのいれ方教室では地域の民生委員や退職した元職員などを招待し、小規模ながら交流することができた。

居宅生活訓練を利用し、アパートや障害者グループホームへ地域移行の支援へつながっている。

触法障害者に対する司法と福祉の連携についても、個別のケースについて、保護観察所やj地域定着支援センター、障害者関係事業所、福祉事務所と複数回ケア会議の実施を行った。

また、人材育成のため、職員による自己評価を行い、人事考課を実施した。

園舎第1期増改築工事が完工し、地域移行及び感染対策対応の居室や、備蓄食品倉庫創設、地域交流室トイレ改修に加え、2階介護職員室移設拡張したことにより、リスク対応ができた。

さらに、園舎第2期増改築工事の入札を実施し、着工した。完成は、令和5年11月の予定である。

入所者の状況については、年度当初は48名で始まり、5月に50名まで増加したため、5月以降の事務費の職員加算が認定された。地域移行と他施設転所により退所者が増加し、9月には46名と減少、2月には48名と定員を割ったまま年度末を迎えた。地域移行を進め、新規入所の受け入れが増加すると精神的不調や高度な支援を必要な利用者も多くなるため、職員にはより高い専門性が求められる状況である。感染症拡大に注意を払いながら、園外研修へ参加し、外部講師を依頼して施設内職員研修を実施した

残念ながら、職員による不適切な支援が明らかとなり、当該職員への注意指導とともに、再発防止のため改めて全職員への指導と人権擁護に関する啓発、支援力強化のための研修を行った。

4.入所者の状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(1)　年間利用状況

（名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
定　員	50	50	50	50	50	50	50
初日人員	48	50	48	48	47	46	46
延人数	1470	1520	1470	1505	1445	1379	1457
一時入所者数	2	1	1	0	0	2	1
一時入所者延人数	22	6	6	0	0	29	20
	11月	12月	1月	2月	3月	計	充足率(%)
定　員	50	50	50	50	50	600	
初日人員	45	47	47	48	48	568	
延人数	1432	1488	1490	1372	1446	17474	95.49%
一時入所者数	1	1	1	0	1	11	
一時入所者延人数	9	23	7	0	3	125	

(2)　年間入退所者調

区　分	令和4.3.31	入所者数	退所者数	令和5.3.31	年間実人員(名)
人員	48	10	10	48	58

(3)　入所前の状況

（名）

区　分	在宅	他救護施設	精神科病院	一般病院	その他	計
人員	5	0	4	0	1	10

(4)　退所者理由

（名）

区分	単身居宅			家族と同居	他施設転所		病院入院		死亡	無断退所	その他	計
	就労	通所	非就労		養護老人ホーム	グループホーム 障害者	精神科	その他				
人員	2	0	1	0	2	1	0	0	0	1	3	10

(5)　在所者年齢調　　令和5年3月31日現在

（名）

年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	計
男	0	2	3	5	12	10	1	33
女	0	1	1	2	7	2	2	15

（平均年齢　52.4歳）

(6)　在所期間調　　令和5年3月31日現在

（名）

期間	1年未満	1～5年	5～10年	10～15年	15～20年	20～25年	25年以上	計
人員	8	22	10	4	4	0	0	48

（平均在園期間　4.3年）

(7)　措置者数と実施機関（福祉事務所）　　令和5年3月31日現在

（名）

実施機関		措置者数	実施機関	措置者数
浜松市福祉事務所	中区	20	掛川市福祉事務所	0
	東区	1	袋井市福祉事務所	3
	西区	3	島田市福祉事務所	0
	南区	5	菊川市福祉事務所	0
	北区	5	湖西市福祉事務所	2
	浜北区	1	静岡市清水区福祉事務所	1
磐田市福祉事務所		7	中部健康福祉センター	0
個人契約者合計		0	措置者合計	48

(8)　健康調及び各種年金受給者調　　令和5年3月31日現在

		老齢年金	厚生障害年金	障害基礎	その他の年金	計
精神障害	35	3	3	16	3	25
知的障害	1	0	1	0	0	1
精神＋知的	8	0	1	6	1	8
精神＋身体	2	0	0	1	0	1
精神＋知的＋身体	1	0	0	0	0	0
知的＋身体	0	0	0	0	0	0
身体障害	0	0	0	0	0	0
病弱	1	1	0	0	0	1
計	48	4	5	23	4	36

(9)　各種手帳所持調　　令和5年3月31日現在

（名）

	身体障害者手帳					
	1級	2級	3級	4級	5級	6級
人数	1	1	1	0	0	0
計	3					

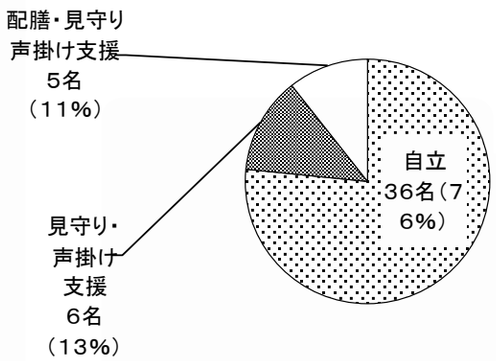
	精神保健福祉手帳			療育手帳	
	1級	2級	3級	A	B
人数	3	29	4	1	8
計	36			9	

（10） 生活（日常生活動作）の自立状況

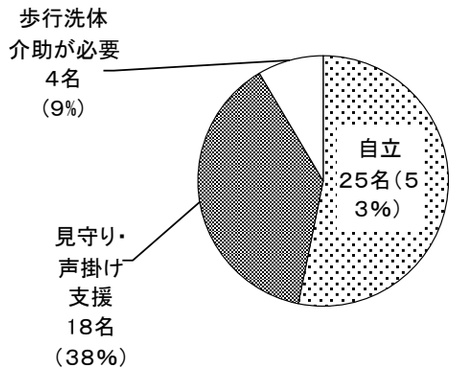
令和５年3月31日現在

自立状況は、食事７割強、入浴５割強・洗濯４割強、身辺整理４割強・金銭管理４割弱、歩行８割強である。昨年度に比べて、洗濯・身辺整理・金銭管理の項目について自立者が減り、見守りなどの一部支援が必要な人が増加している。

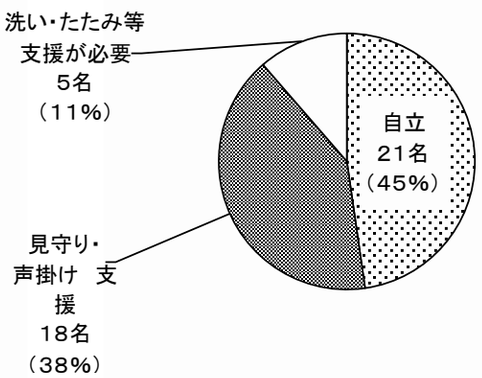
＜食事＞



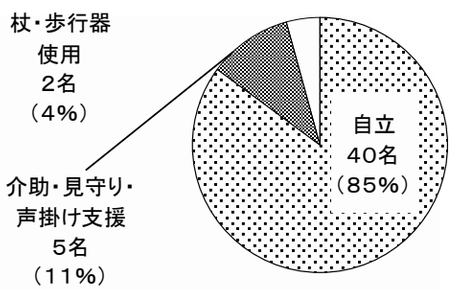
＜入浴＞



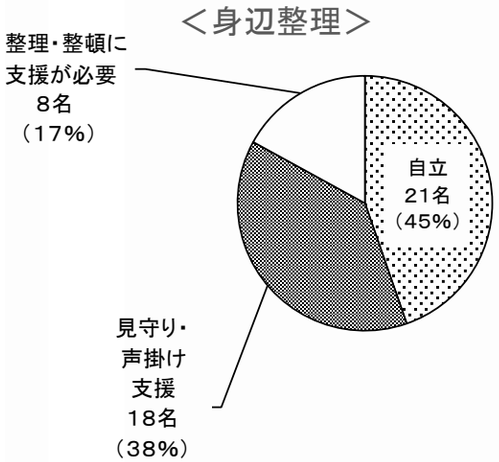
＜洗濯＞



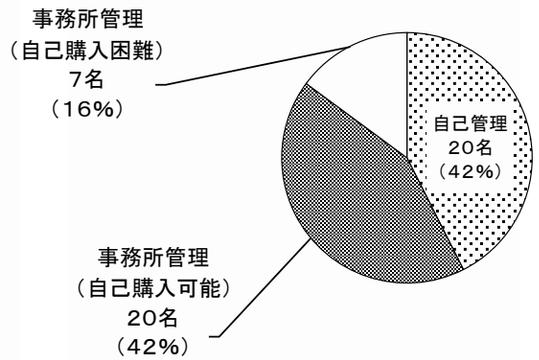
＜歩行＞



＜身辺整理＞



＜金銭管理＞



5．生活支援の状況

生活支援目標（テーマ）

令和4年度は、利用者の互選により選出した役員を中心に自治会を運営。自分たちの手で生活の向上を図るため生活支援目標（テーマ）を立て、毎月懇談会を行った。懇談会では生活支援目標(テーマ)について話し合うと共に、生活上で困っていることや改善点も取り上げている。それにより、園内の約束やマナーについて、それぞれの解決方法として意見を出し合い話し合うことができた。また、娯楽として麻雀、ボードゲームを購入して欲しいという要望があり取り入れた。

また、娯楽として麻雀、ボードゲームを購入して欲しいという要望があり取り入れた。

朝礼で、毎月のテーマにそった一言スピーチを継続して行った。

喫煙者が属する[タバコ組合]の運営を活性化し、喫煙所の整理整頓、清掃の徹底に取り組めた。

月	テーマ	朝礼スピーチテーマ
4	思いやりを持とう	春に行きたい場所
5	足腰を鍛えよう	
6	清潔に使用	暑さに負けずない為には？
7	食中毒に気を付けよう	
8	熱中症に気をつけよう	夏に食べたいものは？
9	防災について考えよう	
10	節約をしよう	秋に行きたい場所は？
11	体力をつけよう	
12	一年を振り返ろう	私の風邪予防
1	新しい目標を決めよう	
2	感染症に気をつけよう	一番好きな季節とその理由
3	整理整頓をしっかりやろう	

(2) 年間行事実施状況

月	日	行事	クラブ
4	1	誕生会・懇談会・身体測定・避難訓練	
		グラウンドゴルフ大会日用品代支給	
	2		
	3		
	4	あすなろ講座	
	5	指導員会議	詩吟
	6		
	7	介護職員会議	
	8	花まつり	茶道
	9		スポーツ
	10		
	11		
	12	内科医来診	
	13	民児協	
	14	精神科医来診	
	15	自己負担金納入	書道・ヨーガ
	16		音楽・読書
	17		
	18	環境美化・観音供養・保健の日	
		給食会議	
	19		笑いヨガ
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		絵手紙
	22		
	23		将棋・スポーツ
	24		
	25		
	26	内科医来診	
	27	生活相談会	
	28	精神科医来診	
		内職金支給	
	29		生花・ペン習字
	30	統計調査	

月	日	行事	クラブ
5	1	麻雀大会予選	
	2	滑り台訓練・懇談会・誕生会	
		身体測定・日用品代支給	
		指導員会議・室内ゲーム大会	
	3	麻雀大会本線・浜松まつり凧場(男)	
	4	ウォーキング	
	5	健康体操と脳トレ・浜松まつり凧場(女)	
	6	介護職員会議	
	7		
	8		
	9		茶道
	10	内科医来診	
	11	精神科採血	
	12	精神科医来診	
	13	ランチウォーキング	
	14		詩吟・スポーツ
	15		
	16		ヨーガ
	17	自己負担金	
	18	環境美化・保健の日・観音供養	
		給食会議	
	19	自動車文庫	スポーツ
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		
	22		
	23	生活相談会	
	24	内科医来診	笑いヨガ・書道
	25		絵手紙
	26	精神科医来診	
	27		
	28		生花・ペン習字・音楽
	29		将棋
	30		
	31	内職金支給・統計調査	
		あすなろ講座	

月	日	行事	クラブ
6	1	誕生会・懇談会・身体測定・避難訓練	
		日用品代支給・バイキング・クリーン作戦	
	2		
	3	指導員会議	
	4		
	5		
	6		
	7	介護職員会議・あすなろ講座	
	8		
	9	精神科医来診・自動車文庫	
	10		ヨーガ
	11	地域体験交流会	詩吟・生花・茶道
			茶道・絵手紙
	12		
	13		
	14	内科医来診	
	15	民児協	
	16	自己負担金	笑いヨガ
	17	環境美化・観音供養・保健の日	
		給食会議	
	18		
	19		
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21	毛布クリーニング	
	22		書道・スポーツ
	23	精神科医来診・生活相談会	
	24		将棋
	25		スポーツ
	26		
	27		
	28	内科医来診	ペン習字
	29		読書
	30	統計調査・内職金支給	音楽

月	日	行事	クラブ
7	1	誕生会・懇談会・身体測定・避難訓練	
		日用品代支給・ランチコース	
		指導員会議	
	2		
	3		
	4	バルサン	
	5	介護職員会議	
	6	あすなろ講座	
	7	七夕	
	8		
	9		詩吟
	10		
	11	グループワークきぼう もくせい会見学	
	12	内科医来診	
	13	民児協	アニマル
	14	精神科医来診	
	15	自己負担金	
	16		
	17		
	18		
	19	環境美化・観音供養・保健の日	
		給食会議	
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		絵手紙・ヨーガ
	22	生活相談会	将棋　　笑いヨガ
	23		
	24		
	25	盆踊り大会	
	26	内科医来診	ペン習字
	27		書道・茶道
	28	精神科医来診	
	29	内職金支給	読書
	30		生花・音楽
	31		

「花まつり」

4月８日にお釈迦様のご誕生を祝い、甘茶をお釈迦様の像に掛けて花まつりを行いました。

「浜松まつり」

凧あげ会場まで、見学にいきました。

「クリーン作戦」

普段使用している道路や公園などのゴミ拾いをしました。

「アニマルセラピー」

アニマルセラピー同好会に、日本アニマルセラピー協会浜松支部よりセラピー犬をお招きしてアニマルセラピーを行いました。
利用者さんが代わる代わる撫でて、動物との触れ合いを楽しみました。

月	日	行事	クラブ
8	1	避難訓練・懇談会・誕生会・身体測定	
		カラオケ大会・日用品代支給	
	2	冷暖房設備点検	
	3	指導員会議	
	4	精神科医来診	
	5		
	6		詩吟
	7		
	8		
	9	内科医来診・介護職員会議	
	10	民児協	
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16	自己負担金	
	17		
	18	環境美化・観音供養・保健の日	
		自動車文庫・給食会議	
	19	職員会議・ケース会議・園内研修	茶道
	20		
	21		
	22	生活相談会	
	23	内科医来診	笑いヨガ
	24		
	25	精神科医来診・あすなろ講座	
	26		
	27		将棋・書道・ペン習字
			絵手紙・生花
	28		
	29	マイナンバーカード出張申請	
		地域生活移行支援グループ「つばさ」	
	30		
	31	内職金支給・統計調査	

月	日	行事	クラブ
9	1	総合防災訓練・懇談会・誕生会	
		日用品代支給・身体測定	
		嗜好品調査	
	2	指導員会議	
	3		詩吟
	4		
	5		
	6	介護職員会議	
	7		茶道
	8	精神科医来診	
	9		
	10	十五夜	スポーツ
	11		
	12	内科医来診	
	13		
	14		笑いヨガ・アニマル
	15	あすなろ講座	スポーツ
	16	環境美化・彼岸観音供養・保健の日	
		給食会議	
	17		
	18		
	19		
	20	職員会議・ケース会議・職員研修	
	21		ヨーガ・書道
	22	精神科医来診	
	23		生花
	24		音楽・読書
	25		
	26	生活相談会	
	27	内科医来診	絵手紙
	28	エレベーター点検・あすなろ講座	
	29	全国救護施設研究協議大会	
	30	全国救護施設研究協議大会	
		内職金支給・統計調査	

月	日	行事	クラブ
10	1		読書
	2		
	3	避難訓練・懇談会・誕生会	
		日用品代支給・わがまちめぐり	
	4	カーテンクリーニング・指導員会議	
	5		
	6	健康診断	
	7	介護職員会議	
	8	十三夜	
	9		
	10		
	11	内科医来診	絵手紙・ヨーガ
	12	民児協	
	13	精神科医来診・自動車文庫	
	14		
	15		詩吟
	16		
	17		生花・将棋
	18	環境美化・観音供養・保健の日	
		給食会議	
	19	ゼミナールA・ゼミナールB	
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21	日帰りゼミ	
	22		ペン習字・スポーツ
	23		
	24	生活相談会	茶道
	25	内科医来診	書道
	26		
	27	精神科医来診	
	28		
	29		
	30		
	31	内職金支給・統計調査	

月	日	行事	クラブ
11	1	施設防災訓練・懇談会・日用品代支給	
		身体測定・インフルエンザ予防接種	
	2	指導員会議	生花
	3	感謝の集い・誕生会	茶道
	4		
	5		
	6		
	7	あすなろ講座	
	8	内科医来診・介護職員会議	
	9		
	10	精神科医来診	
	11		
	12		
	13		
	14		
	15	自己負担金・インフルエンザ予防接種	アニマル
		民児協	
	16		書道
	17	西部地区親睦スポーツ大会	
	18	環境美化・観音供養・保健の日	
		給食会議	
	19		
	20		
	21	職員会議・ケース会議・園内研修	
	22	内科医来診	
	23		
	24	精神科医来診・あすなろ講座	
	25	生活相談会	絵手紙
	26		音楽
	27		詩吟
	28		ヨーガ
	29		ペン習字・絵手紙
	30	内職金支給・統計調査	

「農園作業」
たんぽぽ農園で四季折々の野菜を育てました。

「ソフトバレー」
運動の秋としてスポーツクラブが盛況でした。
写真はソフトバレーボールを利用者さんが楽しんでいるところです。

「日帰りゼミ」

日帰りゼミナールとして、日本平動物園にお出かけしました。
オランウータンがすぐ近くまできて迫力があったとたくさんの利用者さんが言っていました。

「ミニ大仏」

ミニ大仏つくりを利用者さん全員で楽しみました。
思い思いの色を付けてキレイな大仏を作成しました。
作った大仏は、みなさん寄付をしました。

月	日	行事	クラブ
12	1	避難訓練・懇談会・誕生会	
		日用品代支給・障害者交流会	
	2	指導員会議	
	3	コーヒー教室	将棋・読書
	4	コーヒー教室	
	5	年賀状支援	
	6		スポーツ
	7	精神科採血・介護職員	
		グループワークつばさ	
	8	精神科医来診・自動車文庫	
	9		ヨーガ
	10		スポーツ
	11		
	12	設備定期点検	
	13	内科医来診	書道
	14	民児協	
	15	自己負担金	笑いヨガ
	16	環境美化・成道会・保健の日	
		給食会議	
	17		
	18		詩吟
	19		
	20	職員会議・ケース会議	
	21	生活相談会	将棋
	22	精神科医来診・園内研修	
	23		茶道
	24		スポーツ・音楽
	25		
	26		絵手紙
	27	内科医来診・園内大掃除	
	28	内職金支給・園外大掃除・歳忘れ会	
	29		ペン習字
	30		生花
	31	統計調査・カレンダー支給	

月	日	行事	クラブ
1	1	新年祝賀式	
	2	初詣・紅白鑑賞	
	3		
	4	新年お楽しみ会・身体測定	
	5	滑り台訓練・誕生会・懇談会	
		書初め・日用品代支給	
	6		
	7		読書
	8		
	9		
	10	内科医来診・介護職員会議	
	11		アニマル・ヨーガ
	12	精神科医来診・自動車文庫	
	13		
	14		スポーツ
	15		
	16	グループワークつばさ	
	17	あすなろ講座	将棋
	18	環境美化・観音供養・起工式	
		給食会議・保健の日	
	19	自己負担金	茶道・笑いヨガ
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		
	22		
	23	生活相談会・親睦カラオケ大会	
	24	内科医来診・NHK歳末支給	アニマル
	25	初参り	
	26	精神科医来診	書道・絵手紙
	27	県救協指導員研修	生花
	28		詩吟・音楽
	29		
	30		
	31	内職金支給・統計調査	

月	日	行事	クラブ
2	1	誕生会・懇談会・避難訓練・身体測定	
		日用品代支給・ランチコース	
	2		
	3	指導員会議・あすなろ講座	
	4		読書
	5	普済寺ウォーキング	
	6		
	7	介護職員会議	
	8		
	9	精神科医来診・自動車文庫	
	10		
	11	退園者交流会	スポーツ
	12		
	13		
	14	内科医来診	将棋
	15	民児協・あすなろ会参加	ヨーガ
	16	精神科医来診	
	17	環境美化・保健の日・涅槃観音供養	
		給食会議	
	18		
	19		
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21	自己負担金	
	22		笑いヨガ
	23		
	24	生活相談会	ペン習字・茶道
	25		スポーツ
	26		
	27		生花
	28	内科医来診・内職金支給・統計調査	書道・音楽・絵手紙

月	日	行事	クラブ
3	1	懇談会・誕生会・避難訓練・身体測定	
		話し方大会・日用品代支給	
	2		
	3		
	4		読書
	5		
	6		
	7	内科医聴打診・介護職員会議	
	8	ランチ外出	
	9	自動車文庫・精神科医来診	
	10	給食訓練	
	11		スポーツ
	12		
	13		将棋
	14	内科医来診	
	15	民児協	
	16	自己負担金	
	17	環境美化・観音供養・保健の日	
		給食会議	
	18		
	19		
	20	職員会議・ケース会議・園内研修	
	21		
	22	春物衣類支給・苦情解決委員会	
	23	精神科医来診	
	24		茶道
	25		
	26		
	27		
	28	内科医来診	笑いヨガ・絵手紙
			書道
	29		ペン習字・生花
	30		
	31	内職金支給・統計調査・職員会議	音楽

「コーヒー教室」

退職した職員や地域の方、理事の方をお招きしてコーヒー教室を行いました。
利用者さんは店員になったり、コーヒーを自分の分淹れたり、おいしいコーヒーを飲んで楽しみました。

「祝賀式」

新年のお祝いを利用者さん全員で行いました。
おせちも頂き、新しい年を全員で感じました。

「節分会」

節分会に鬼に扮した人が参加して盛り上げました。
豆も撒いて福を呼びました。

「ひな祭り」

慈照園の女性利用者さんが集合写真を撮りました。
ひなまつりのケーキも食べてお祝いしました。

（3） クラブ活動実施状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和4年度は、新型コロナウィルスも終息に向かいはじめ、各クラブ対面で行える状況が増えた。前年度までの経験を活かし、インターネットの動画投稿サイトを利用する形のクラブ活動を行うなど、各クラブ担当職員で工夫を凝らしながらの活動が目立つ年となった。

	クラブ名	実施回数	人員	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	内　　容
教養	書　道	12 回	8 名 固定		季節に合わせた文字の見本を見ながら練習をしました。 正月書初めを園全体で行いました。
	ペン習字	10 回	12 名 固定		手首運動用のなぞり書き、漢字ひらがなのなぞり書きより始め、 みなさん上達が見られた。
	茶　道	13 回	10 名 固定		コロナ禍で先生が見えない中、介護職員はじめ利用者さんたち と考えながら茶道ができた。
	生け花	12 回	5 名 固定		季節のお花を生けて展示した。 6月は中日いけばな展の見学をした。
	音　楽	10 回	9 名 固定		歌や楽器の練習、音楽鑑賞を行った。 2月には楽器博物館に見学に行った。
	将　棋	11 回	7 名 固定		先生をお呼びすることが難しく、職員により対局を中心に実施した。
	絵手紙	13 回	12 名 固定	鈴木八重子先生	毎月秋葉坂下郵便局と園内へ掲示しました。 季節を感じられるものを題材に楽しみながら活動できました。
	詩　吟	10 回	5 名 固定		詩吟に親しみ、声を出し練習することができた。 園内のカラオケ大会などの機会を通じて発表することができた。
	アニマル セラピー	4 回	変動 同好会	日本ｱﾆﾏﾙｾﾗﾋﾟｰ 協会浜松支部	犬との触れ合いから心を和ませ、生き物への関心を高めた。 セラピーを通して優しさを学び、日々の生活へ活かした。
	読　書	9 回	変動 同好会		本の感想、紹介、新聞の作成、図書館の利用を行った。
	手　芸	随時	変動 同好会		10月の刺し子体験から活動を始めました。 作品販売にあわせ毎日ちくちく楽しい時間を過ごした月もあります。
運動	スポーツ	16 回	12 名 固定		第二土曜は西小体育館でソフトバレーの練習 第四土曜は西小グラウンドでソフトボールの練習
	笑いヨガ	10 回	11 名 固定		YouTubeを利用し、食堂で流しながら笑いヨガを行いました。
	ヨーガ	10 回	9 名 固定	山内亜紀子先生	サテライト2階でマットを使用しながら行い、より効果の高い ヨーガに取り組むことができた。

6.作業支援の状況

(1)園内作業

A社のバリ取りを年度初めから行い、BC社の封緘作業が5月、9月に貰うことができた。6月より新しくDE社と取引が開始され、収入の増加につながった。作業内容としてはDE社の作業により前年度紙漉きを行っていた利用者さんが、収入の増加に伴いモチベーションが上り活発化が見られた。継続することにより全体的に新しい作業に挑戦しようという層も増え、作業態度や能力の向上が利用者さんの一部に現れていた。また紙漉きも並行して行い景品事業への応募や他施設の団体様が見学に来られた時に販売などの模索を年度を通して行った。ありがたいことに一定の成果があったがバリ取り作業の増大や年度末のサテライト終了に伴い、紙漉きは終了となった。

①　園内作業実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
作業内容	A社	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り	バリ取り
	B社		封緘作業				封緘作業						
	C社					封緘作業							
	D社			自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品	自動車部品
	E社			軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業	軽作業
	園内制作	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き	紙漉き

②　作業稼働日と月平均勤務率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作業稼働日数(日)	22	16	17	19	14	20	18	13	20	18	19	18	214
月平均勤務率	64%	70%	69%	72%	79%	81%	75%	73%	72%	80%	74%	68%	73%

※1コマ以上作業をした日を1日とカウントする作業稼働日数で勤務状況を分析することとする。

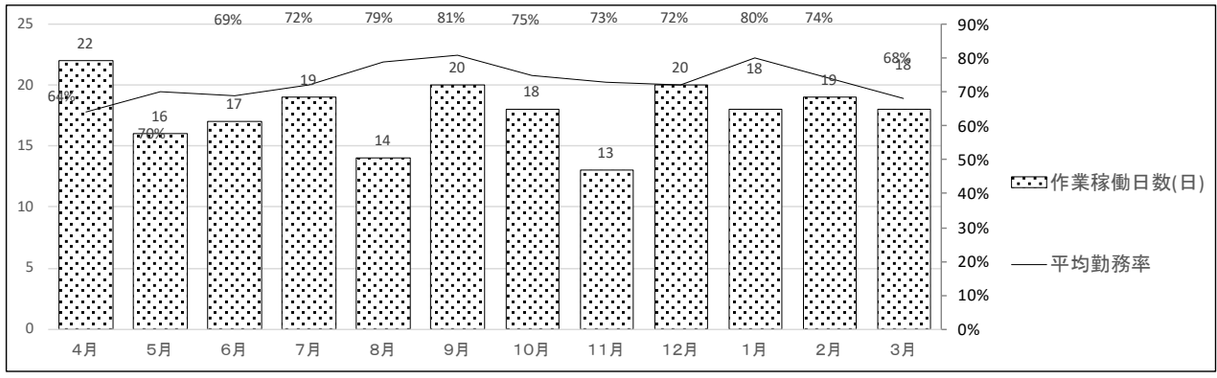
※就労訓練への参加や、園内作業不参加の利用者が増え園内作業の勤務率は下がっている。

※コロナ・疥癬が流行ったため出席率が下がっている。

③　年間勤務率

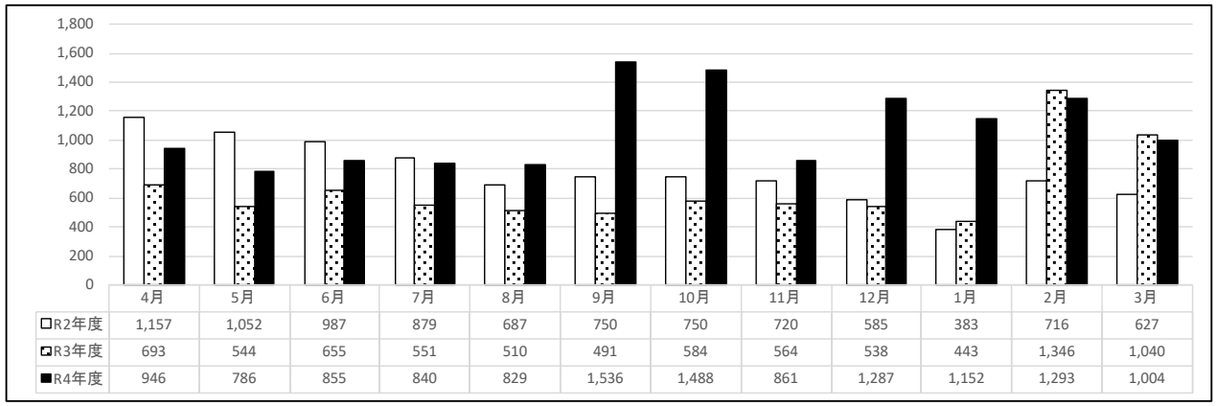
年間作業稼働日数(日)	214
勤　務　率	73%

④　月別作業日数と平均勤務率



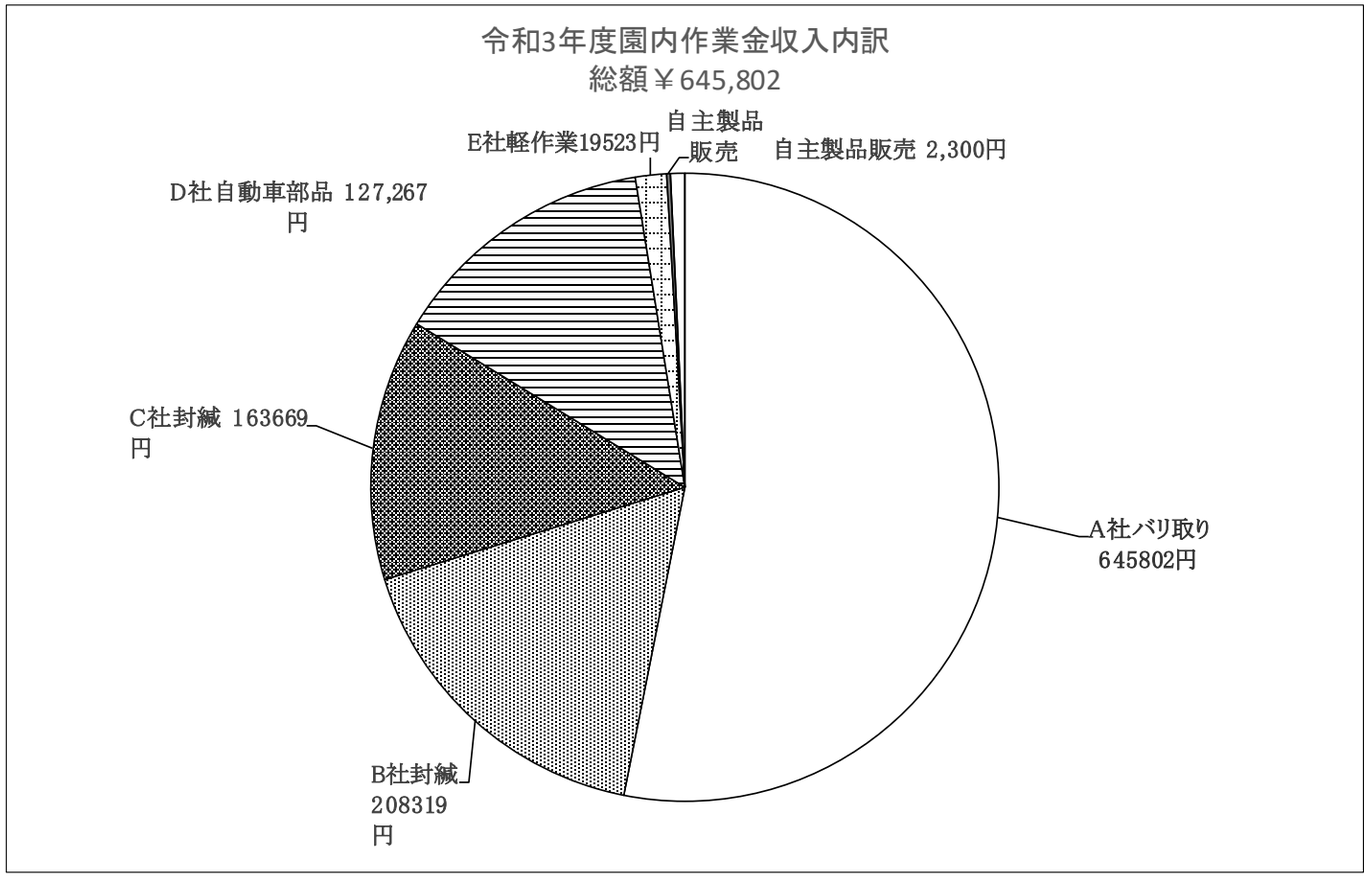
※作業日数と勤務率の数値の表示場所変更

⑤　月別平均支給金　　平均　1,073 円



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R2年度	1,157	1,052	987	879	687	750	750	720	585	383	716	627
R3年度	693	544	655	551	510	491	584	564	538	443	1,346	1,040
R4年度	946	786	855	840	829	1,536	1,488	861	1,287	1,152	1,293	1,004

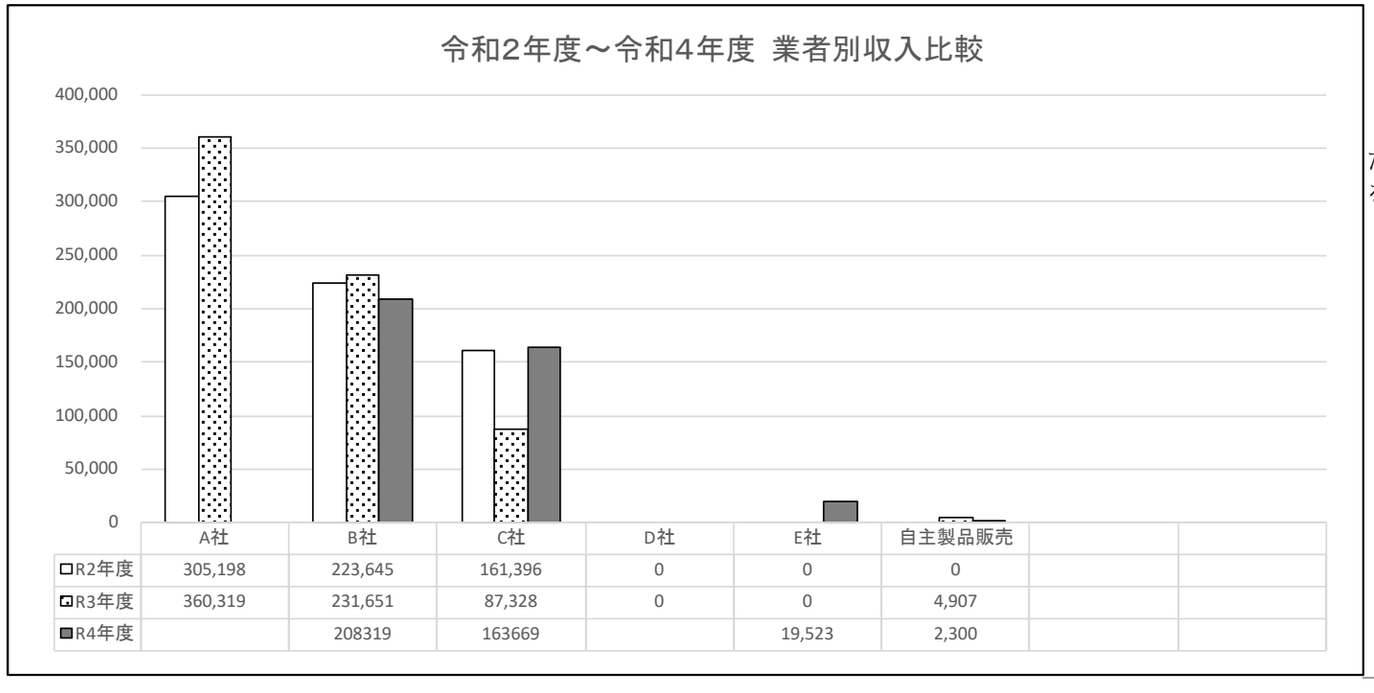
⑥　園内作業金収支状況



A社のバリ取りは多少の上下はあったものの通年で安定している。６月ぐらいからＤ社、E社と取引が開始される。
Ｄ社の自動車部品は安定しており、途切れることなく作業を進めることができた。
Ｅ社の軽作業はスポット的ではあるが、まとまった賃金が入るようになっている。
B・C社の封緘作業はC社の封緘が飛び込みで入り例年より収入が増えた。

⑦　業者別収入比較

※自主製品販売の売り上げがあったため項目を追加



	A社	B社	C社	D社	E社	自主製品販売
R2年度	305,198	223,645	161,396	0	0	0
R3年度	360,319	231,651	87,328	0	0	4,907
R4年度		208319	163669		19,523	2,300

(2)園外作業

令和4年度、13名の利用者が園外作業に出かけた。3/31現在8名が就労継続中である。

①　就労人数

業種	清掃業	農業	調理補助	その他	計
人数	10	3	0	0	13
雇用保険加入数	2	0	0	0	2
健康保険加入数	1	0	0	0	1

②　年間実働人数

月	清掃業①	清掃業②	清掃業③	清掃業④	清掃業⑤	農業	調理補助	その他	計
4	2	2	1	0	0	0	0	0	5
5	3	2	1	0	0	0	0	0	6
6	3	2	1	0	0	0	0	0	6
7	3	2	1	0	0	0	0	0	6
8	0	2	1	0	0	0	0	0	3
9	3	0	1	1	0	0	0	0	5
10	3	0	1	1	0	0	0	0	5
11	3	0	1	1	0	0	0	0	5
12	3	0	1	1	0	0	0	0	5
1	3	0	1	1	0	0	0	0	5
2	3	0	1	1	0	3	0	0	8
3	3	0	1	1	1	3	0	0	9
新規就職者	4	0	0	1	1	3	0	0	9
退職者数	3	2	0	0	0	1	0	0	6
外勤退園者	1	1	0	0	0	0	0	0	2

③　職場訪問回数

月	計
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
1	0
2	1
3	0
計	1

④　就労支援グループワーク「きぼう」

「きぼう」では、必要な礼儀・知識を身に付けると共に、就労への動機づけを明確にした。12/3　12/4　地域の方・元職員を招きコーヒー教室を実施、実際に接客の体験学習を行った。

月	内　　容	参加人数	職員
5	なぜ働きたいのか？動機の確認	11名	1名
6	B型事業所　つばめ創社の見学	4名	1名
7	B型事業所　　もくせい会の見学	3名	1名
9	ソーシャルスキルトレーニング(職場内のコミュニケーション)	8名	1名
11	浜松市中区スマイルフェスタ　出展手伝い	3名	1名
12	コーヒー教室　接客対応	4名	2名
2	雇用形態、就労基礎控除の学習	40名	1名
2	浜松市障害保健福祉課　当事者会参加	3名	1名

7.保健の状況

（1） 定期健康診断検査結果

令和4年10月6日～令和5年3月30日

項目		受診者数	精検者数	精検後継続治療が必要になった者（治療中の者は除く）
10月6日	血液	35	0	0
	胸部		2	0
	心電図		1	0
	前立腺		1	0
	大腸		3	0
1月31日	婦人科	4	1	0
3月7日	聴打診	48	5	1
合計		87	13	1

① 血液検査で腎機能異常の指摘を受けるものの多くは、塩分控えめにするよう促している。

② 大腸カメラ施行3名中1名は検査中徐脈にて中止となり、1名はポリープ切除、1名は問題なし。
婦人科検診に4名中、1名が精密検査し問題なし。

（2） 月別通院調

令和4年4月1日～令和5年3月31日
（49名）

年月		4									5			合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
生保	初診	7	9	12	5	4	5	5	5	10	22	8	9	101
	継続	103	107	112	104	107	109	109	108	107	121	123	121	1326
保険他	初診	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	継続	0	0	0	1	1	1	1	1	2	2	2	2	12

（3） 診療科別通院調

令和5年3月31日現在
（49名）

区分	精神科	内科	耳鼻科	整形外科	消化器科	外科	皮膚科	腎・泌尿器科	婦人科	脳外科	眼科	歯科	その他	合計
人員	46	32	10	3	1	1	13	2	1	0	6	2	4	121

※ 精神科・内科については、各々月2回嘱託医が慈照園診療所(医務室)にて受診している。
複数の診療科へ受診している人は、それぞれ計上されている。

① 3診療科目以上の科目を受診し、治療をうけている利用者の数は21名(3月末データ)となる。

② 皮膚科は、疥癬疑いで受診をして乾燥によるものと診断されている為、現在も継続して受診している。

（4） 感染症関係

① **新型コロナウィルス感染症（COVID-19）**

予防接種の4回目以降は基礎疾患がある者・職員は希望者のみとして、4回目は令和4年6月、5回目は令和5年1月に実施。8月に3名、11月6名、令和5年1月に3名陽性となり、基準に基づいた隔離期間、濃厚接触者への対応を行った。状態の応じた検温や状態チェックの実施。マスク着用を徹底し外出時の手洗い・うがいの声掛けに手指消毒、換気、施設内の消毒、感染予防用品の確保、外出・行事の中止とした。

② **インフルエンザ**

職員・利用者を対象とした予防接種は11月に実施し感染はなかった。

③ **レジオネラ症**

浴槽水のレジオネラ属菌水質検査（7月）と受水槽の洗浄（3月）を実施した。

④ **結核**

胸部レントゲン検査実施、結核報告なし。

⑤ **消化器系感染症**

ノロウイルス感染症に利用者の4名が診断を受け、状態に応じ食器などの個別対応とした。

⑥ **皮膚の感染症**

白癬は月1回の確認を行い、病巣が確認された場合は市販薬を使用して、早期治療を行い毎日の清潔に努めた。人により、市販薬を自己管理とし無くなったら交換とした。

疥癬は感染症に10名罹患した為、隔離し内服薬と軟膏処置にて軽快した。湿疹のある利用者も多く疥癬者が出た場合は全員の皮膚チェックし早期の皮膚科受診を進めた。

（5） 服薬管理

確認管理からカート管理へ移行5名、カート管理から自己管理へ移行10名(内漢方のみが3名)となり、再び自己管理からカート管理や確認管理へ戻るなどして、利用者の状態に応じて支援した。自己管理者は個人の薬にスケジュール袋の購入を進め、医務室で確認し1週間から2週間ずつへと支援した。
薬の依存者に対して、面談し自覚を促す服薬の大切さを教えた。

（6） 医療機関との連絡調整

入院した利用者は計5名（精神科3名、整形外科1名、肛門科1名）

（7） 清潔保持

外出時等の手洗い・うがいの声掛けに努め,基本的生活習慣が身につくよう支援した。

（8） 歯科支援

① 令和4年6月 歯と口の健康フェスタが新型コロナウィルス感染により中止となり、歯周病検診受診券が届いた10名中6名を治療対象とし、歯科受診した。1名は現在も継続中である。

② 令和4年11月24日、左津前 真歯科医師に講師を依頼し、口腔ケアについて学習をした。

③ 歯磨き支援の必要な利用者に対して1日3回（1日延べ8名）の歯磨き支援実施。

④ 疾病に伴い嚥下機能低下、意識力困難が見られる利用者が増加しているため見守り体制の強化に努め、声掛けを職員に促した。状態に応じて食事形態を変更した。

⑤ 嚥下対策として利用者全員参加の嚥下体操を実施。

（9） 血圧・体重測定・メタボリックシンドロームをふまえた支援

	BMI値	身長(cm)	体重(kg)
男性	20.9	166.8	57.9
女性	22	154.3	52.6
全体	21.3	162.5	56.2

※利用者の平均BMI値は正常(20以上 24未満)である。

BMI 18.5以下のハイリスク者は5名。BMI 25以上のハイリスク者は4名となった。

（10） 健康相談

自ら訴える利用者だけでなく状態に応じ健康管理に努め、早期の治療へと繋ぎ心身の安定と健康保持に努めた。

（11） 健康の情報共有及び記録

福祉見聞録に記録を残し、健康状態の把握にチエック表を用い全職員が統一した。
支援が出来る様に全職員が勤務するまで口頭で報告、利用者の疾病把握を促した。

（12） リハビリテーションの実施

令和4年3月末現在の杖歩行者は1名、歩行器使用者1名となった。
医師の指示によるリハビリが2名実施され、その他3名の利用者がリハビリ療法に励んでいる。

（13） 環境美化の日

毎月、環境美化の日を決め実施した。必要に応じて防虫対策した。

（14） 広報及び啓発

保健支援重点項目に合わせてポスターやほけんだよりを掲示したり、朝礼にて注意を呼びかけたり健康意識を啓発した。利用者さんで病気に関する理解が難しい場合は、パンフレット等を貰い個々に指導した。

（15） 保健の日

毎月、時節に応じた内容と共に、外部の感染状況の情報を声掛けした。新型コロナウィルス感染症やインフルエンザ、熱中症の流行に伴い、利用者全員の体温測定の実施と水分補給への支援を早期に対応した。

（16） 災害時の対応

毎月の避難訓練実施に参加し、災害時持ち出し物品の点検と近隣の小学校へ救急箱隊列訓練を9月に行っているがコロナ感染もあり中止、救急箱のチェックのみ施行した。

8.給食の状況

園の給食は、健康保持増進に必要な栄養バランスの取れた食事を柱とし、暮らしをより豊かに彩る行事食や季節感のある食材を組み合わせ、なるべく温かい物は温かく、冷たい物は冷たくを旨とし提供した。

近年、若年者の入所者が増えているため、比較的短い入所期間で外勤終了後に地域移行するケースが増えている。入所者の入れ替わりが短期間で行われるため、半年ごとに基準量の見直しを行っている。

今年度も健康診断で貧血気味の利用者が多く、引き続き米飯にCa・Feの乳カル酵素を使用している。

各利用者の栄養状態や嗜好により、補食・間食の支援をしている。

（1） 令和4年度　年間平均実施給与栄養量(中盛)

日本人の食事摂取基準〔2020年度版〕より

	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	レチノル当量	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g
年平均実績	1863	72.1	52.2	701	13.5	693	3.10	1.42	115	8.3
基準量（10～3月）	1850	70	50	670	10	700	1.3	1.5	100	8.5
基準量（4～9月）	1860	70	50	670	10	700	1.3	1.5	100	8.5

※ビタミンB1は強化米使用のため

（2） 食事の分類

R5. 3. 31現在

食　　種		人数	備　　考
主　食	普通食	47名	極小　3名、　特小　4名、　小盛　11名、　中盛　23名、　大盛　7名
	粥食	1名	義歯不具合、消化不良
主　菜 副　菜 フルーツ おやつ	普通食	33名	
	一口大食	7名	義歯　義歯調整中　歯周疾患　歯牙欠損
	刻み食(みじん)	1名	義歯　義歯調整中　歯周疾患　歯牙欠損
	（固い物のみ）	3名	義歯　義歯調整中　歯周疾患　歯牙欠損（りんご等）
	代替食	8名	牛乳→ヨーグルト　乳製品使用不可　　肉→魚　代替え　　そばアレルギー
	とろみ	0名	
	透析食	1名	生野菜一茹こぼし、塩分制限
	減塩食	1名	塩分制限

（3） 特別食　体調不良者に対し、本人、医師、看護師、指導員、介護職員と協議の上、粥食、減塩等の治療食を個別対応した。

（4） 検査食　医師の指示により、検査に合わせて提供した。

（5） 選択食　月2回(昼1回夕1回)実施。
6月1日「天ぷらそば・うどんバイキング」を実施。

（6） 嗜好調査　年2回、5月と9月に実施し、献立作成に反映させた。

（7） あすなろ講座　食育推進のため、栄養教室（講師：山下栄養士）を実施した。
テーマ「食品と栄養素について」

9. 防災活動実施状況

新型コロナウイルス感染対策と併用する形として、昨年度より継続し、購入補充等を実施した。備蓄食品については、9月、11月、3月に給食訓練を行い、災害時を想定した食事提供の仕方を確認した。消費した分は補充購入し、5日程度の食材をストックしている。

また、今年度も新型コロナウイルス感染の影響で、地域の自主防災隊の協力、自治会の消火訓練の開催はなかった。職員のAED、心肺蘇生法訓練は、自助訓練として、ユーチューブのAEDメーカーの使用方法にて、職員それぞれが確認しながら訓練を行った。

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月	日	実 施 内 容	想　定	備　考
4	1	避難訓練	夜間想定	
5	2	避難器具使用訓練	滑り台使用訓練	
6	1	避難訓練	火災想定	
	10	機器点検（業者点検）		東海防災㈱
7	1	避難訓練	夜間火災想定	
8	1	避難訓練	夜間火災想定	
	19	園内研修（職員対象）		「AEDと心肺蘇生法」の使用訓練
9	1	総合防災訓練	南海トラフ地震想定	
		情報伝達訓練		
		地震防災応急対策訓練		
		第1次避難所への避難訓練		
		防災袋・懐中電灯・ヘルメット点検		
		災害用トイレ設置訓練		
		給食訓練（備蓄食提供訓練）	ライフライン途絶	ご飯、みそ汁、鶏肉缶詰
10	3	避難訓練	夜間火災想定	
11	1	「施設防災の日」訓練		
		避難訓練	夜間火災想定	
		給食訓練（備蓄食提供訓練）	ライフライン途絶	ご飯、みそ汁、さんま缶詰
		職員研修		福祉避難所設営
12	1	避難訓練	夜間火災想定	
	12	機器点検（業者点検）		東海防災㈱
	26	特殊建築物・建物設備定期検査		㈱井上建築事務所
1	5	避難器具使用訓練	滑り台使用訓練	
2	1	避難訓練	火災想定	
3	1	避難訓練	火災想定	
	10	給食訓練（備蓄食提供訓練）	ライフライン途絶	アルファ米、みそ汁

10. 研修実施状況

（1） 園内研修

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月	日	対象	種別	テーマ	講　師	所属
4	5	指導員	福祉	個別支援計画	神谷　信介　指導員	
	4	利用者	福祉	令和4年度事業計画について	左右田　雅子　園長	
	7	介護職員	福祉	内職作業の進め方	水野　翔太　介護職員	
5	2	利用者	栄養	栄養教室	山下　恵　栄養士	
	12	介護職員	福祉	緊急時の対応方法	佐藤　晃世　看護師	
	20	職員	IT	館内ネットワーク	斎藤　拓生　介護職員	
	31	利用者	健康	体調不良時の対応	佐藤　晃世　看護師	
6	3	指導員	福祉	デイサービス状況	前門　貴子　指導員	
	6	介護職員	福祉	ヒヤリハット・事故報告	古田　武弘　指導員	
	15	職員	防災	防災設備について	古田　武弘　指導員	
	20	職員	福祉	ヨーガについて	廣瀬　幹雄　指導員	
7	1	指導員	健康	発達障害について	前門　貴子　指導員	
	5	介護職員	福祉	居宅訓練について	中山　文恵　介護職員	
	6	利用者	医療	お薬の話	中村　祐子　薬剤師	トクダ薬局
	20	職員	IT	ホームページ活用（Aadobe）	廣瀬　幹雄　指導員	
8	1	指導員	福祉	相談支援について	神谷　信介　指導員	
	9	介護職員	防災	災害時対応訓練	角皆　友規　介護職員	
	19	職員	技能	バイク講習会	古田　武弘　指導員	
9	6	介護職員	防災	防災教室	江口　浩　介護職員	
	15	利用者	福祉	タバコの害とコロナウィルス	浜松中央保健所　講師	浜松中央保健所
	20	職員	福祉	事例検討会	内山　敏　ルピロ　所長	発達相談支援センター
	28	利用者	健康	転倒防止体操	森下　貴史　理学療法士	入野ケアセンター
10	3	指導員	福祉	権利擁護・虐待防止	神谷　信介　指導員	
	3	指導員	福祉	薬物依存の治療	梅田　樹　指導員	
	7	介護職員	設備	設備管理について	西河　久典　介護職員	
	20	職員	福祉	権利擁護の話	古田　武弘　指導員	
11	2	指導員	福祉	利用者の受診状況	服部　恒子　看護師	
	21	職員	福祉	コミュニケーション能力	赤堀　久士　社会保険労務士	
	24	利用者	健康	口腔ケアについて	佐津前　真　歯科医	浜松市歯科医師会
12	7	介護職員	健康	介護技術について	小塚　詠子　介護職員	
	20	指導員	健康	臨時投薬投与について	服部　恒子　看護師	
	22	職員	健康	精神疾患について	井口　博登　精神科嘱託医	神経科浜松病院
	23	利用者	健康	ウィルス感染の予防について	佐藤　晃世　看護師	
1	6	指導員	福祉	生活相談と苦情解決	古田　武弘　指導員	
	10	介護職員	栄養	食育について	日置　花那子　介護職員	
	17	利用者	福祉	仕事の探し方	鈴木　理恵子　主任指導官	ハローワーク職員
	20	職員	福祉	事例検討会	内山　敏　ルピロ　所長	発達相談支援センター
2	3	利用者	就労	外勤とボランティアについて	廣瀬　幹雄　指導員	
	3	指導員	業務	保護費事務費請求	前門　貴子　指導員	
	7	介護職員	福祉	洗濯支援について	戸塚　佐知子　介護職員	
	20	職員	福祉	触法障害者者の社会復帰支援	梅田　樹　指導員	

（2）園外研修

コロナウイルス感染症拡大予防のため、研修が中止となったり参加自粛したりしたが、オンラインでの開催も増えたため、感染状況が落ち着いている時期には、研修に参加することができた。

月	日	内容	主催者	園長	指導員	介護職員	看護師	栄養士	事務員
7	1	関東地区救護施設研究協議会(オンライン)	関救協	1	1	2			
9	8	精神障害を理解するための研修会（統合失調症）	市精神保健福祉センター			1			
9	29・30	全国救護施設研究協議大会（オンライン）	全救協	1	1				
10	24	精神障害を理解するための研修会（認知症）	市精神保健福祉センター			1			
10	27	総合消防訓練指導会	市防火協会			1			
11	7	県救護施設看護師研修会（オンライン）	県救協				1		
11	9・10・11	関東地区救護施設職員研修会（オンライン）	関救協	1					
11	16・17	防火管理講習	浜松市消防局			1			
11	9	県救護施設栄養士研修会(オンライン)	県救協					1	
1	10	看護職員研修	県福祉人材センター				1		
1	26	浜松市福祉大会	浜松市社会福祉協議会		1				
1	27	県救護施設指導員研修(オンライン)	県救協		1				
2	10・11	社会福祉士実習指導者講習			1				
2	13	県救護施設介護職員研修会(オンライン)	県救協			2			
2	14	アンガーマネジメントを学ぶ講座	県福祉人材センター		1				
2	14	県西部経営協経営者・施設長セミナー	県西部経営協	1					
2	15	静岡DWAT登録員養成研修	静岡県社協		1				
2	20	県救護施設個別支援計画研修会(オンライン)	県救協		1	1			
2	22	利用者の身体観察のポイント講座	県福祉人材センター			1			
3	1	県地域生活定着支援センター啓発研修（オンライン）	県地域生活定着支援センター		1				
3	17	市施設協保護施設部会職員研修(オンライン)	市施設協保護施設部会			2			
3	12	強度行動障害支援者フォローアップ研修	静岡市（静岡市障害者協会）		1				
計				4	10	12	2	1	0

１１．地域交流状況

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、園内外の多くの行事や活動が中止となった。それでも地域体験交流会、盆踊り、感謝の集いは、規模を縮小しながら開催することができた。

令和4年4月1日～令和5年3

	交　流　内　容	園参加者	地域住民	家族	回数	交流室	備　考
広報	機関紙「慈　光」	－	－	－	2	－	620部を年2回発行
自治会	鴨江西町納涼まつり	－	－	－	－	－	開催中止
	鴨江北町納涼まつり	－	－	－	－	－	開催中止
	総合防災訓練	52	－	－	1	－	9/1 自治会依頼中止
高齢者	観音供養	550	－	－	11	－	毎月18日※休日の場合、前
	涅槃観音供養・交流会	50	－	－	1	－	2/18
子供会	盆踊り大会	52	4	－	－	使用	元職員2　ボランティア2
	ラジオ体操	－	－	－	－	－	開催中止
学校	愛恵保育園交流会	－	－	－	1	－	4/8はなまつり招待
サロン	コーヒー教室	33	23	2	2	－	救護施設先駆的実践シェア
奉仕	クリーン作戦	50	3	－	－	－	実習生3名
	地域の草取りボランティア	－	－	－	－	－	西地区社協の要請なし
福祉推進	感謝の集い	46	－	－	－	使用	クラブ発表会のみ
	地域体験交流会	4	2	－	－	使用	
実習生	社会福祉援助技術現場演習	－	92	－	4	－	23日間　×4名
	介護等体験	－	－	－	－	－	受け入れなし
	福祉の職場体験	－	1	－	－	－	
ボランティアの受け入れ	アニマルセラピークラブ	52	4	－	4	－	有償ボランティア　年4回
	将棋クラブ	69	－	－	11	－	毎月1回
	詩吟クラブ	39	－	－	10	－	毎月1回
	生花クラブ	25	－	－	10	－	毎月1回
	茶道クラブ	94	－	－	12	－	毎月1回
	書道クラブ	78	－	－	12	－	毎月1回　1月は書初大会
	ペン習字クラブ	55	－	－	10	－	毎月1回
	絵手紙クラブ	96	－	－	13	－	毎月1回
	スポーツクラブ	157	－	－	15	－	西小体育館とグラウンド利用
	ヨーガクラブ	63	10	－	10	－	毎月1回　ボランティア
	音楽クラブ	58			10		毎月1回
	笑いヨガクラブ	22	－	－	3	－	毎月1回
	読書サークル	46	－	－	9	－	不定期
	手芸サークル	9	－	－	2	－	不定期
他施設との交流	障害者交流会	45	3	－	1	使用	退園者3
	親睦ソフトボール大会	－	－	－	－	－	雨天中止
	親睦スポーツ大会	44	－	－	－	－	浜北グリーンアリーナ
	親睦カラオケ大会	－	－	－	－	－	コロナのため不参加
合計		1,789	142	2	154	4	
地域交流室利用	民生児童委員研修会	－	207	－	7	使用	浜松市中区西地区民児

１２.居宅生活訓練事業 実施状況

慈照園に入所している利用者が、民間住居（アパート）で実体験的に生活訓練を行ない、円滑に居宅生活に移行することを目的に平成26年度よりこの事業を開始した。訓練中は、体調の安定、日課（就労）への参加、金銭、服薬管理を徹底するとともに、退園後も安心して生活できるよう支援した。

（1） 利用者数の推移

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	3	3	3	3	3	4	2	3	3	2	2	3	
新規利用者	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
終了利用者	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	4
地域移行者	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中止移行者	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
中断利用者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
復帰利用者	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
短期利用者	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	5
短期終了者	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	4

（2） 訪問回数と支援内容

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（回数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問回数	7	8	14	12	10	10	6	6	6	7	7	7	100

（3） 実績

今年度は6名が居宅訓練事業を利用し、2名が地域移行、3名が新規に訓練を開始、2名が途中で訓練を中止した。中止の理由は、居宅訓練者同士での物のやり取り、喫煙、不明金とルール違反が続き訓練を一旦中止とし、再度慈照園にて地域移行を目指すこととした。

5月に地域移行した方は、福祉サービスにつなげ就労継続支援A型事業所に就職した。７月に地域移行した方は、一般就労を継続しながら慈照園の通所事業（訪問）を利用する予定だったが、退所１週間後行方不明となった。

また、地域生活を想定した慈照園個室（314，315）を3名が利用、民間住居（アパート）を短期で5名が利用した。事前に課題などを発見しながら、正規の居宅生活訓練事業の実施に3名をつなげることができた。

訓 練 後 の 進 路	
地域生活へ移行（慈照園退所）	２名
来年度へ継続	３名

13.通所事業実施状況

デイサービス・通所事業（通所）の取り組み状況

浜松市から承認された通所事業(通所)の定員は10名、毎月5～6名の利用があった。措置ではなく、施設独自のデイサービス(措置外 通所者）は、1名の利用があった。

（1） デイサービス･通所事業の利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
通所事業（通所）定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
通所事業（通所）月初措置人数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	67
通所事業（通所）措置人数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	67
措置外　通所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
措置通所者延人員	144	138	143	139	146	149	137	124	123	110	117	118	1588
延人員	144	138	143	139	146	149	137	124	123	110	119	122	1594

（2） デイサービス･給食サービスの利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
登録人員	6	6	6	5	5	5	6	6	7	7	6	6	71
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延人員	122	127	128	121	136	138	119	114	108	94	102	102	1411

（3） デイサービス･通所事業の年間利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（名）

区分	R4.3.31	新規利用者数	利用終了者数	R5.3.31	年間実人員
人員	6	1 1（退所の方）	1 1（再入所）	6	7

（4） デイサービス･通所事業の取り組み

社会参加する場として、慈照園内の作業に従事し、入所利用者同様に園の行事や日課にも参加した。独自のサービスとして毎月1回、昼食作りを実施。

レクリエーションを目的とした日中活動を、新型コロナ感染予防対策をしながら毎月行った。

自立援助事業（訪問）の取り組み状況

保護施設通所事業（訪問）の定員は18名（措置外利用者含まず）。措置人数は13～10名と減少傾向。
措置ではなく施設独自の訪問支援を3～5名で推移。

（1） 自立援助事業・通所事業（訪問）の利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
通所事業（訪問）定員	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
通所事業（訪問）月初措置人数	13	13	12	12	12	12	12	10	10	10	10	10	136
通所事業（訪問）措置人数	13	13	12	12	12	12	12	10	10	10	10	10	136
措置外　利用者数	3	3	3	5	3	3	3	3	3	3	4	4	40
利用者数合計	16	16	15	17	15	15	15	13	13	13	14	14	176

（2） 自立援助事業・通所事業（訪問）の年間利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

区分	令和3.3.31	新規利用者数	利用終了者数	令和4.3.31	年間実人員
人員	16	2	4	14	18
		2（慈照園退所者）	2（他サービスへ） 1（慈照園入所） 1（行方不明）		

（3） 連 絡 状 況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

（名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
来園	5	1	1	3	3	1	2	3	1	3	3	2	28
訪問	28	30	28	28	27	29	30	26	31	31	34	28	350
電話受診	2	10	3	11	4	0	2	7	4	11	7	7	68
電話発信	2	8	2	2	12	2	0	1	0	2	6	5	42
同行	0	2	1	0	0	0	0	2	2	2	0	0	9
計	37	51	35	44	46	32	34	39	38	49	50	42	497

（4） 退園者交流会利用状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月	日	内容	場所	参加人数
2	11	退園者交流会	サテライト2階	6

14.苦情解決システム実施状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

令和4年度は、14件の苦情または相談を受け付けた。全件、解決に至っている。面談、投書もしくは、生活相談会であった。生活相談会では、第三者委員が相談員となり、あらゆる相談を受け、利用者の精神的な安定に寄与されている。投書箱には、多数の無記名で内容不明の投書がみられた。利用者の状態を推し量るものとして捉えている。また、4件は、苦情、要望であり、苦情受付担当者、苦情解決責任者へ直接相談があった。聴き取り、面談等、また担当指導員の対応、苦情受付責任者の対応にて解決となった。

ホームページや広報誌「慈光」において、具体的な内容等、個人が特定されない範囲で公表している。

(1) 苦情申出人数（人）

男　性	10
女　性	4
不　明	0
合　計	14

(2) 申出方法　（件）

投書	1
面談	13
電話	0
その他	0
合　計	14

(3) 所属　（人）

利用者	13
デイサービス	0
家　族	0
地　域	1
合　計	14

(4) 相談の内容　（件）

希望要望	10	個人生活	10
苦情	4	支援内容	1
		職員の対応	2
		施設設備	0
		家　族	0
		利用者同士	0
		その他	1
合　計			14

(5) 解決結果　（件）

解　決	14
未解決	0
達成度	100%

(6) 生活相談会利用者数(人

男　性	9
女　性	3
合　計	12

15. 情報公開の状況

(1)　機関紙『慈光』の発行　年2回（1月、7月）

発行部数　643　部

＜部数内訳＞

行政機関	27	観音供養導師	80	学校関係	15
生活保護施設	63	民生委員	24	近　隣	148
他法施設	74	保護者	37	退園者	30
医療機関	42	保佐人	3	元職員	42
理事・監事・選任委員	9	職　親	4	評議員	7
第三者委員	2	ボランティア	18	その他	18

(2)　ホームページの開設　随時更新

URL　http://jishoen.jp/

16. リスクマネジメントの状況

(1)　事故報告書・ヒヤリハット報告書集計

	利用者				職員				作業	20
	内訳1		内訳2		内訳1		内訳2			
事故報告書	23	無断外出行方不明	3	医療機関受診	3	ケガ	3	医療機関受診	0	
	1	窃盗								
	0	精神的　不調								
	7	転倒	42	医療機関未受診			0	医療機関未受診		
利用者 45	9	暴力								
職員 3	5	その他								
ヒヤリハット報告書	129	転倒	1	医療機関受診	3	給食異物混入	1	医療機関受診	1	
	34	無断外出行方不明								
	29	服薬関係								
	22	暴力								
	29	精神的不調			3	紛失				
	4	ケガ	278	医療機関未受診			9	医療機関未受診		
	8	窃盗								
	2	体調不良								
	3	紛失			4	施錠忘れ				
利用者 279	4	セクハラ男女問題								
職員 10	6	無断喫煙								
	15	その他								

17. 職員の構成

(1)職員配置

令和5年3月31日現在

※( )は非常勤、嘱託医は内科・精神科(名)

	園長	事務員	主任指導員	指導員	介護職員	看護師	栄養士	調理員	嘱託医	介助員	計
国の配置基準	1	1	－	1	8	1	1	4	(1)	1	18 (1)
現　数	1	1	0	4	11	2	1	委託	(2)	1	21(2)

[居宅生活訓練事業(2) 通所(3)]　（2名育児休業、1名休職中　介助員は指導員との兼任）

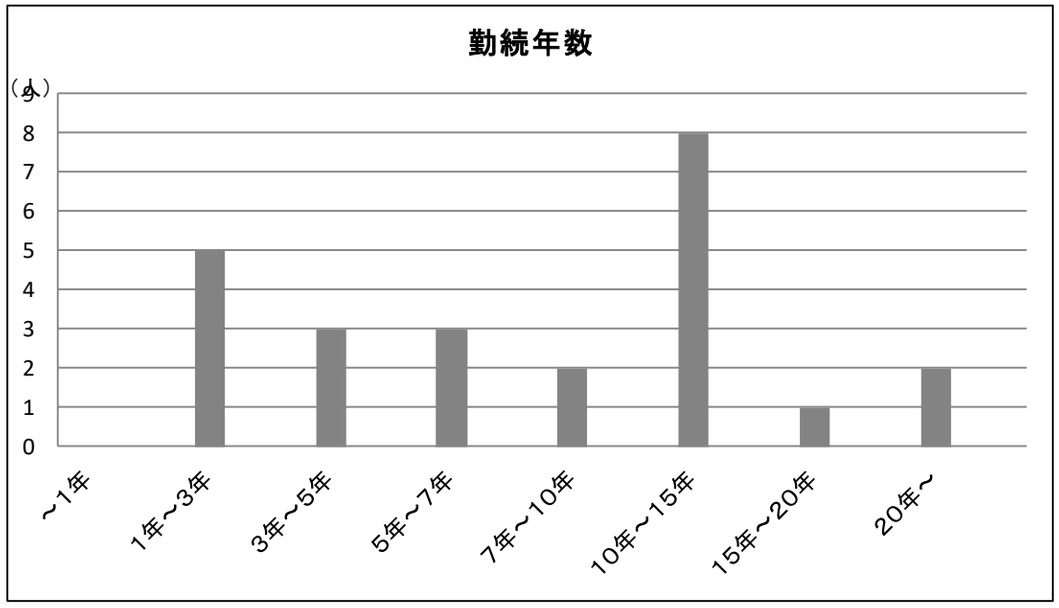
(2)取得資格

令和5年3月31日現在

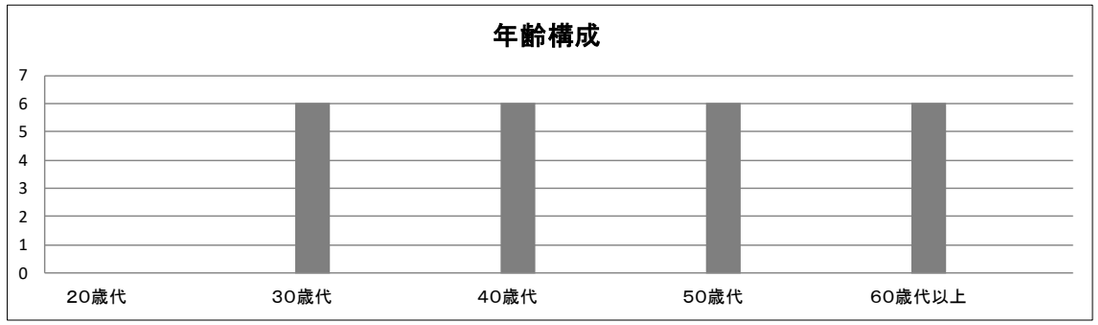
資格	社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	社会福祉主任	介護支援専門員	訪問介護2級	保育士	看護師	准看護師	管理栄養士	栄養士	防火管理者
人数(名)	6	5	7	15	4	6	0	1	1	1	2	5

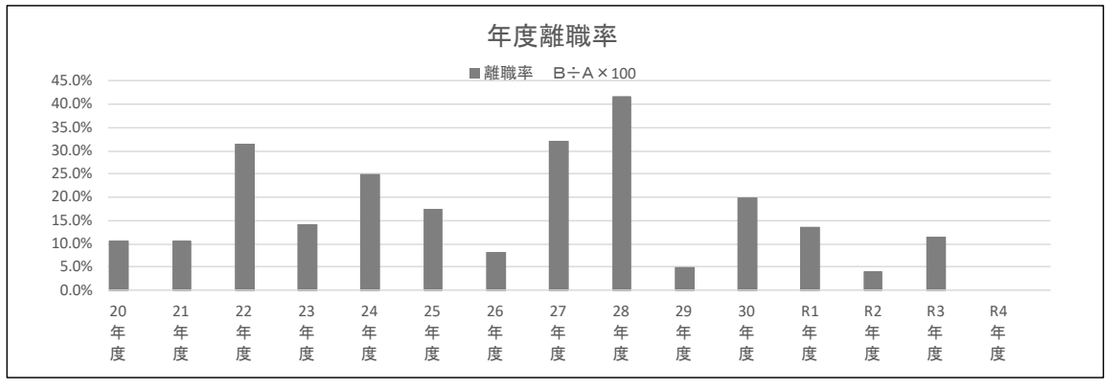
(3)勤続年数

令和5年3月31日現在

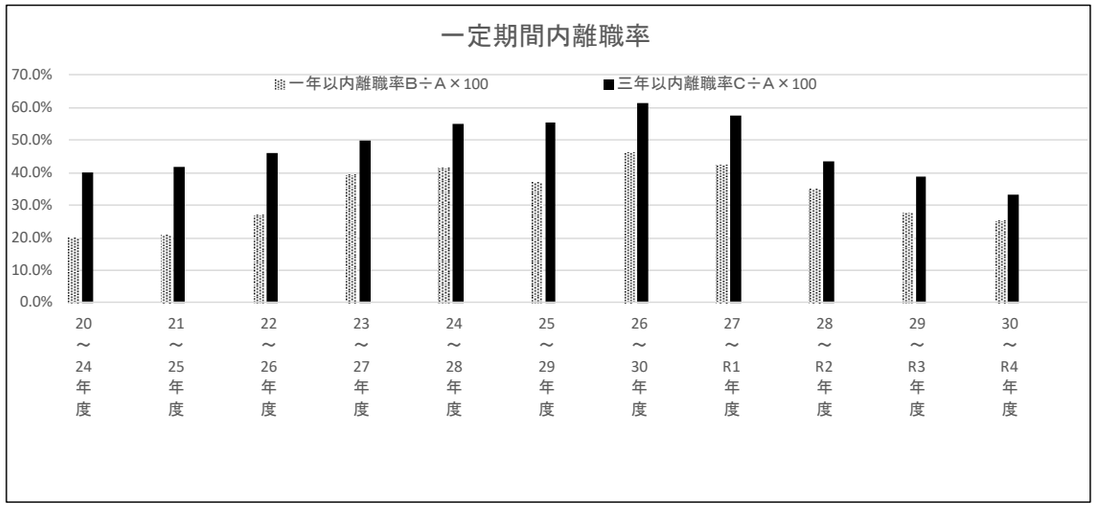


※介助員を除く

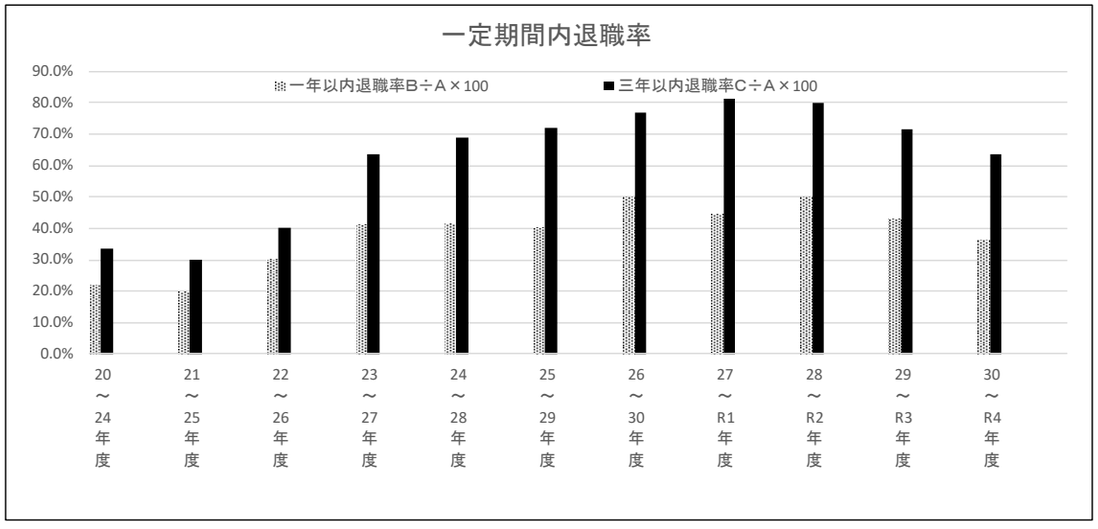




※離職率（年度中の退職者／4月1日現在の在職者）



※1年以内離職率（採用後1年以内の退職者数B／期間内の総採用者数A　3年以内離職率（採用後3年以内の退職者数C／期間内の総採用者数A）



※1年以内退職率（採用後1年以内の退職者数B／期間内の総退職者数A）　3年以内退職率（採用後3年以内の退職者数C／期間内の総退職者数A）

19.施設整備状況

1．建物（基本財産）取得

① 慈照園園舎第1期増改築工事
（電気設備、自動火災報知設備、給排水衛生設備、スプリンクラー、空調設備工事、監理業務費）

② 食堂パッケージエアコン　更新

③ 電話機・屋内 LAN 配線工事

④ 厨房　自動消火装置　更新

⑤ 事務室エアコン　更新

2．土地取得

無し

3．構築物取得

無し

4．車両および運搬具取得

① 原付　スズキレッツ　更新

5．器具及び備品取得

① 保管庫一式（介護職員室）

② 事務員用パソコン　更新

③ ステンレス貯米庫　更新

④ 電気ホットワゴン　更新

⑤ 両開き保管庫（ロビー）

6．修繕（10万円以上）

（事業費）

① 回転釜修理

（事務費）

無し

7．建設仮勘定支出

① 増改築第２期工事　手付金、中間金

② 増改築工事　変更設計業務料

③ 建築確認申請手数料

④ 防犯カメラ配線工事

20. アンケート実施報告

サービスの向上にむけて、利用者全員を対象としたアンケートを4回、個別の希望・要望・

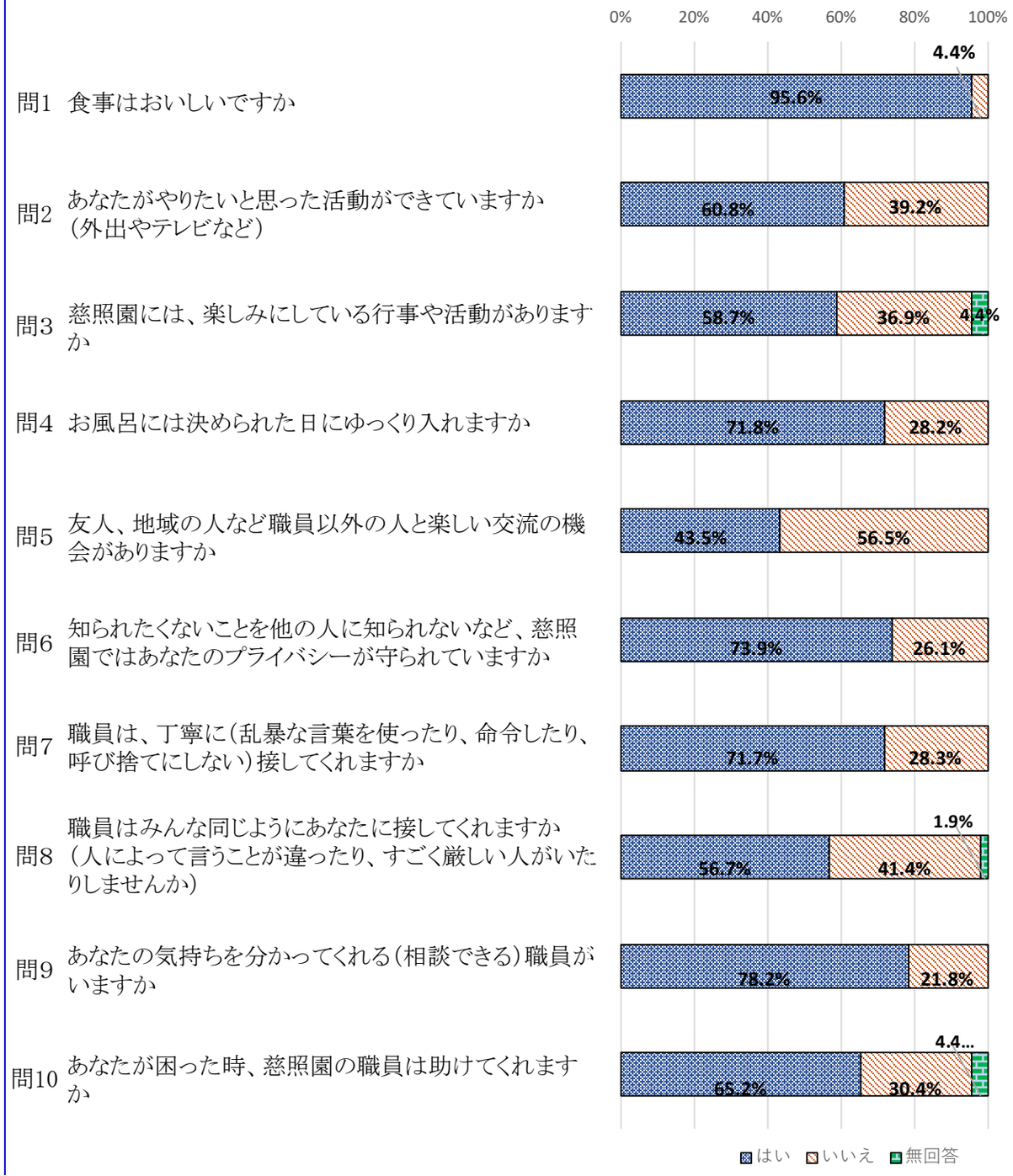
聞き取りを随時実施した。

月日	対象	方法	回収率	内容
令和4年5月23日	54名 （利用者・デイ利用者）	アンケート用紙に自筆で記入・記名	95%	日常生活に関するアンケート・トイレについて
令和4年11月15日	52名 （利用者・デイ利用者）	アンケート用紙に自筆で記入・記名	98%	慈照園サービス評価
令和4年11月16日	28名 （ご家族・引受人）	アンケート用紙に自筆で記入・記名	47%	慈照園サービス評価
令和5年1月20日	49名 （利用者・デイ利用者）	アンケート用紙に自筆で記入・記名	94%	行事アンケート
令和5年1月20日	49名 （利用者・デイ利用者）	アンケート用紙に自筆で記入・記名	94%	クラブ活動

令和4年度　慈照園サービス評価アンケート（利用者編）結果報告

1. アンケートの目的
   利用者に対し、慈照園のサービスに対するご意見・ご評価を伺い、今後の慈照園のサービス向上・改善に反映させるため
2. アンケートの対象
   令和4年11月15日現在、慈照園入所利用者49名、デイ利用者5名
3. アンケート方法
   自筆でアンケート用紙に記入・無記名
4. アンケート期間
   令和4年11月15日～令和4年11月18日
5. アンケート回収
   52名より回答を得た

〈アンケート結果〉



令和4年度慈照園サービス評価アンケート（ご家族・引受人編）結果報告

1. アンケートの目的

ご家族・身元引受人の皆様の、慈照園のサービスに対するご意見・ご評価を伺い、今後のサービス向上・改善に反映させるため

2. アンケートの対象

令和4年11 月16日現在、慈照園入所利用者47名、デイ利用者5名のうち、郵送による連絡可能な家族または身元引受人36名

3. アンケートの方法

アンケート用紙を「年末の年始の帰省・面会制限について」と同封して郵送し、
返信用封筒にて送付・回収という方法にて実施

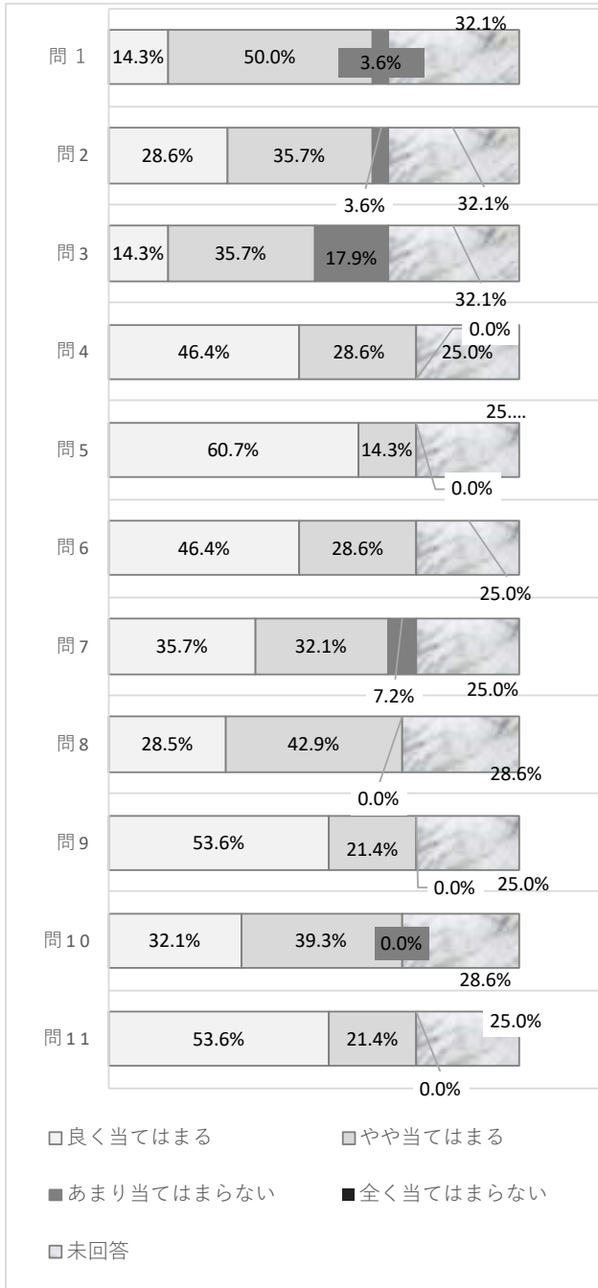
4. アンケート期間

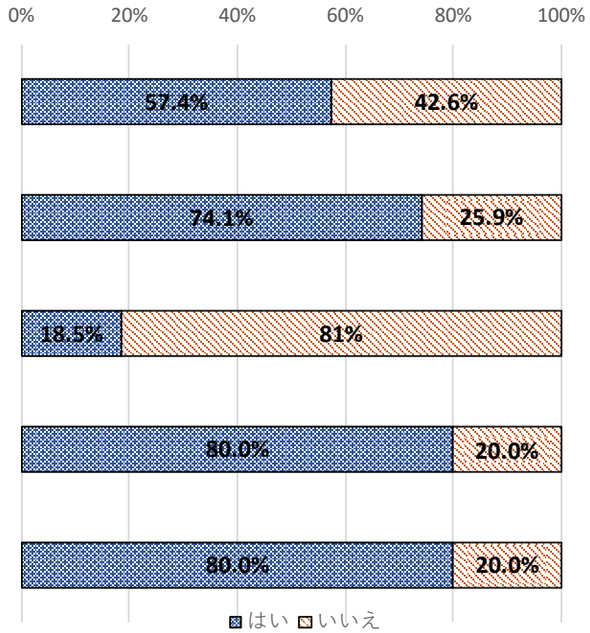
令和4年11月16日（アンケート用紙配布）～令和4年12月1日

5. アンケート回収

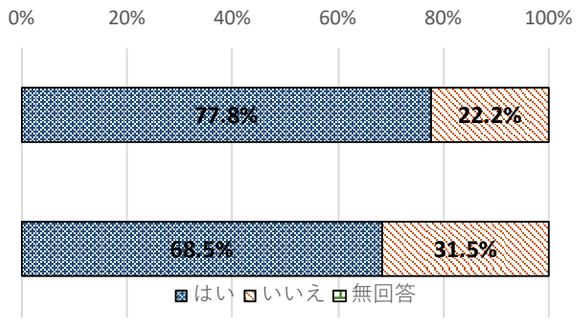
28名より回答を得た（回収率50％）

＜アンケート結果＞



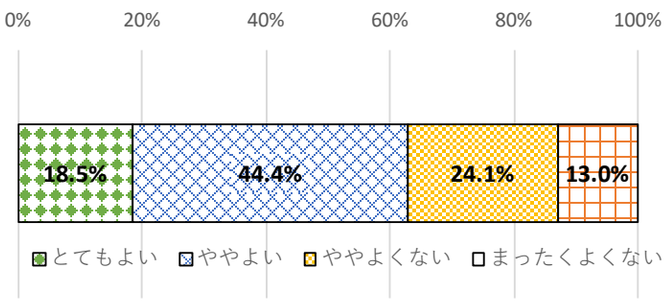


≪以下、全利用者への質問≫



≪総合的な感想について≫

慈照園はあなたにとってよいところだと思いますか
（ひとつに〇）



≪結果のまとめ≫

・コロナ禍、制限のある生活の中で行事や外部との交流の機会が減り評価が下がった項目もあるが、昨年度同様、比較的高い評価を頂いた項目が多かった。

・「総合的な感想について」では、約34％の利用者が慈照園は「よくない」と答えているため、個人との面談を増やし、個別支援 計画の充実、また施設生活の意義を感じられるような支援が必要である。

・新規入所時の「事前説明」について、全ての利用者に入所時1～2時間慈照園について説明をしている。説明が分かりにくかったと感じている利用者は10名中2名いた。また入所して説明と同じと感じた利用者は72％から80％に上がり、説明や印象との差や違いが少なくなっており改善している点でもある。今後もわかりやすい説明に取り組み改善する必要がある。

2.自由回答（抜粋）

・気づく点はいくつもあります。とくに気がつくのは始めての時よりものすごーくかわったあいさつや、玄関に出てくる時呼んであいさつする時等、人を見る目つきです。

・特にありません。 よく見てくれてありがとうございます。

・コロナの為、今年一年本人にも会っていません。慈照園にも足を運んでいません。アンケートと言っても あまり判らないのが現状です。またコロナが下火になったら伺いたいと思います。

・皆様に任せきりで解らないです。今までの状況を考えれば慈照園の皆様には感謝以外にはないのですべて特Aでかまわないのですが、それでは満点で止まってしまうのでそれ以上の園の可能性が有ると思っているので無回答を多くしました。

3.まとめ

・慈照園としての取り組みについては、昨年以上に評価を頂いたものの、無回答、未回収の存在もあり精査していかなければならない。

・集団生活であるものの、個別支援の原則を更に推し進め集団生活の良さを活かしながら個人の趣向、趣味性を一層、考慮していく必要がある。

・利用開始時は説明と同意の原則に従い、更に分かりやすい説明ができるよう工夫していく必要がある。

・ご家族が、更に当園に相談しやすくするために、先ずはしっかりした信頼関係を築いていく必要がある。

20. 福祉サービス自己評価

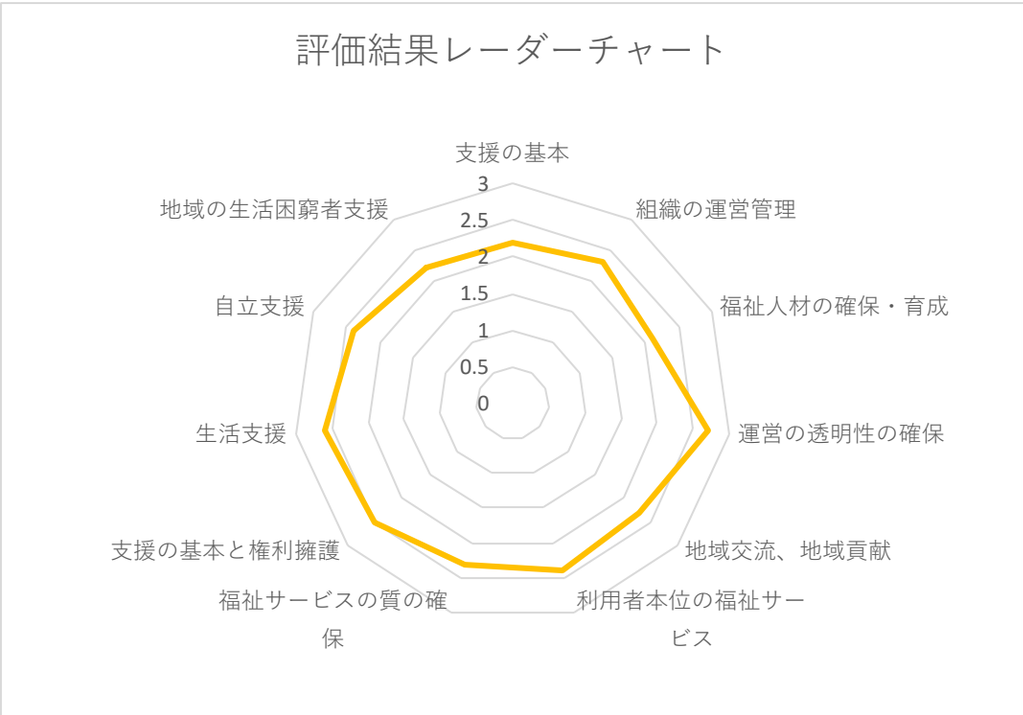
「福祉サービス第三者評価基準（救護施設版）」による慈照園自己評価結果

R5.1実施

令和4年度は、第三者評価共通評価基準ガイドライン（救護施設版）
第三者評価内容評価基準ガイドライン（救護施設版）を利用し、
自己評価に取り組んだ。

評価方法はA＝3　B＝2　C＝1点で採点、全職員の平均値を出した。

	項　目	得点
Ⅰ	支援の基本	2.2
Ⅱ-1	組織の運営管理	2.3
Ⅱ-2	福祉人材の確保・育成	2.1
Ⅱ-3	運営の透明性の確保	2.7
Ⅱ-4	地域交流、地域貢献	2.3
Ⅲ-1	利用者本位の福祉サービス	2.4
Ⅲ-2	福祉サービスの質の確保	2.3
A-1	支援の基本と権利擁護	2.5
A-2	生活支援	2.6
A-3	自立支援	2.4
A-4	地域の生活困窮者支援	2.2



今回の評価をもとに、改善させた項目

Ⅰ－4－(1)－②
組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している

対応　サービス検討会議を令和5年４月から再開する。

Ⅲ－1－(1)－②
利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている

対応　第2期増改築工事において、個室の増築を実施している。

Ⅲ－2－(3)－②
利用者に関する記録の管理体制が確立している

対応　業務日誌改ざん防止で、ロックをかけるようにした。

自己評価Ⅰ　（第三者評価共通評価基準ガイドライン（救護施設解説版）より）　令和5年1月実施

	項　目	R4年 平均点	理由
	Ⅰ　支援の基本	3点満点	
	Ⅰ－1　理念・基本方針		
	Ⅰ－1－(1)　理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ－1－(1)－①　理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	2.6	毎月、会議等が行われている。多様なサービスは無理、合っていない。
	Ⅰ－2　経営状況の把握		
	Ⅰ－2－(1)　経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ－2－(1)－①　事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	2.3	施設等も改修されている。環境も分析されている。地域の福祉計画を分析できていない。
3	Ⅰ－2－(1)－②　経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	1.8	園長の説明がなされており明確。障害者グループホームに利用者をとられている。それを役員が知っているか疑問。経営に関するお金の流れがよくわからない。
	Ⅰ－3　事業計画の策定		
	Ⅰ－3－(1)　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ－3－(1)－①　中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	2.3	施設方針に沿って、あるべき姿を計画的に立てている。中長期計画に沿って、年間計画が立てられている。
5	Ⅰ－3－(1)－②　中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	1.9	計画はできているが実行できていない。
	Ⅰ－3－(2)　事業計画が適切に策定されている。		
6	Ⅰ－3－(2)－①　事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	2.4	年度計画は年度当初に、会議で説明されている。年間地域移行の5名目標はできていない。
7	Ⅰ－3－(2)－②　事業計画は、利用者達に周知され、理解を促している。	2.3	事業計画をフロアに置いて、利用者が読めるようにしている。利用者の意見が計画に取り入れられている。
	Ⅰ－4　福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組		
	Ⅰ－4－(1)　質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	Ⅰ－4－(1)－①　福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	2.2	会議で共有化を図っている。
9	Ⅰ－4－(1)－②　評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	1.8	サービス検討会議をやらなくなった。マニュアルの見直しが不十分。
	Ⅱ　組織の運営管理		
	Ⅱ－1　管理者の責任とリーダーシップ		
	Ⅱ－1－(1)　管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ－1－(1)－①　管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	2.4	広報誌に記載されている。
11	Ⅱ－1－(1)－②　遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	2.4	法理順守できている。改築等を行うときに入札などで公正を保っている。
	Ⅱ－1－(2)　管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ－1－(2)－①　福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	2.2	分析が不十分で、研修が形式的になっている。
13	Ⅱ－1－(2)－②　経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	2.1	人事考課の基準がある。具体的な得点は示されない。リーダー制の担当者を設ける。

	項　目		
	Ⅱ－2　福祉人材の確保・育成		
	Ⅱ－2－(1)　福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ－2－(1)－①　必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	1.9	自分の将来像を描くような仕組み作りはない。有給休暇を取りやすい「など人材確保に努めている。
15	Ⅱ－2－(1)－②　総合的な人事管理が行われている。	1.8	職場処遇の点で、育児休暇をとりやすくする取り組みがされている。
	Ⅱ－2－(2)　職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ－2－(2)－①　職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	2.4	しっかり把握されている。わーくんやソウェルの福利厚生を不要という方もいる。
	Ⅱ－2－(3)　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ－2－(3)－①　職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	1.8	職員一人一人の目標設定はなく、代わりに個別面接を実施している。
18	Ⅱ－2－(3)－②　職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	2.4	毎朝、「職員の心得」を唱和している。毎月の職員会議の中で、福祉士養成講座の資料を読み合わせている。
19	Ⅱ－2－(3)－③　職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	2.3	新入職員には、必ずOJTが行われる。
	Ⅱ－2－(4)　実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ－2－(4)－①　実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	2.3	大学の要望に沿ったプログラムにするよう配慮している。毎年実習生を受け入れて、大学と連携していると実感している。

	Ⅱ-3 運営の透明性の確保		
	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	2.7	ホームページを定期的に更新し活用。
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	2.6	園内の内部監査を定期的に受診している。
	Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献		
	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	2.5	地域の回覧物(広報等)は、利用者に回覧し募集があれば参加した。
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	2.5	クラブ活動ではボランティアさんとの交流を行っている。
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	2.3	中区障害者協議会、スマイルフェスタに参加。会議で情報共有してきた。
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	2.1	静岡TSネットワークの会議に参加。自立支援連絡会、遠州精神保健福祉をすすめる市民の会と連携。地域住民との交流の場を設けている。
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	2.1	訪問サービスを実施。福祉避難所として備品等を確保。
	Ⅲ 適切な福祉サービスの実施		
	Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス		
	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	2.3	毎月の職員会議で、福祉士養成講座の資料を読み合わせている。内容の解説を受けている。
	項 目		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	2.3	二人部屋でカーテンない。プライバシーは守られているとは言えない。重要事項説明書に基づいてプライバシー保護に取り組んでいる。
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用者希望者に対して福祉サービス利用に必要な情報を積極的に提供している。	2.5	
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	2.5	施設紹介DVDやユーチューブを活用。一時入所、地域体験交流会開催。
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	2.5	老人ホームやグループホームへ移行する場合は、アセスメント表を提供。アフタケア実施。退所者への訪問実施
	Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	2.4	意思決定が不十分な利用者への配慮がルール化されていない。
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	2.3	苦情受付カードと相談箱を設置。
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	2.4	利用者参画の場として、あすなろ懇談会という会を毎月開いている。
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	2.1	利用者自治会の意見は、職員会議の場で公表され検討される。
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	2.4	リスクマネジメント委員会が、不定期で開催される。
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	2.6	コロナ対策想定の、訓練を実施してきた。疥癬にも臨機応変の対応がとれている。
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	2.6	毎月、火災や地震が発生した状況を想定して、避難訓練を実施している。
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービ スが提供されている。	2.3	業務マニュアルが作成され、定期的に見直しされている。
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	2.1	サービス検討会議が不定期で開催されている。
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	2.2	面接等を行い、一人ひとりのニーズに合わせた支援計画を立案している。
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	2.1	毎月のケース検討会議で、必要に応じて変更や見直しをしている。
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	2.3	実施記録の整備状況は確認できていない。
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	2.4	入所者面接や通院で必要な場合、慌てることがある。

自己評価Ⅱ (第三者評価内容評価基準ガイドライン(救護施設版)より) 令和5年1月実施

	項 目	R4年 職員平均	理由
A-1 支援の基本と権利擁護		3点満点	
	A-1-(1) 支援の基本		
1	A-1-(1)―① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	2.7	自治会懇談会で、利用者同士の意見交換がある。利用者の自己決定に配慮しているとは言えない。
2	A-1-(1)―② 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	2.7	グループワーク「希望」と、就労準備グループ「つばさ」の活動がある。自動車文庫を推進している。
3	A-1-(1)―③ 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	2.5	発語の不明瞭な方には、丁寧に聴き取ることを心掛けている。体調不良時は、看護師が適切な処置を行う。
4	A-1-(1)―④ 利用者の自己決定を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	2.6	金銭管理では自己決定と違った判断が多くある。菓子や嗜好品について上限を設けている。
5	A-1-(1)―⑤ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用者支援等を行っている。	2.5	個別支援計画がなかなか意識されない。
6	A-1-(1)―⑥ 利用者のと快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	2.4	必要な冷暖房の活用。
	A-1-(2) 権利侵害の防止等		
7	A-1-(2)―① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	2.4	障害者対策基本法にのっとり、合理的配慮の必要性を繰り返し学んできた。 リスク委員会が臨時で開催されてきた。
A－2 生活支援			
	A －2－(1) 日常的な生活支援		
8	A-2―(1)―① 利用者の障害・疾病等の状況に応じた適切な支援を行っている。	2.7	園内外の研修等を活用し、知識や技量の向上に努めてきた。
9	A-2―(1)―② 利用者の心身の状況に応じた日常的な生活支援を行っている。	2.7	日々の健康チェックが恒例となっている。検温がおも
10	A-2―(1)―③ 利用者の嗜好や心身の状況にあわせて食生活を支援している。	2.8	選択メニューや選択弁当の日を実施している。
	A －2－(2) 機能訓練・生活訓練		
11	A －2－(2)－① 利用者の心身の状況に応じた生活訓練や機能訓練を行っている。	2.7	リハビリ対象者に適切な支援をする。
	A －2－(3) 健康管理・医療的な支援		
12	A －2－(3)－① 利用者の健康管理の支援と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	2.6	看護師が研修などで得た情報を、職員へ提供している。
13	A －2－(3)－② 医学的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	2.5	服薬管理の情報交換が適宜行われている。体調不良や精神不調に速やかに対応している。
A-3 自立支援			
	A-3-(1) 社会参加の支援		
14	A－3－(1)―① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加のための支援を行っている。	2.5	コロナ禍の中、地域との交流ができなかった。
	A-3-(2) 就労支援		
15	A-3-(2)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	2.7	内職作業の選択が増えたことで、利用者が技量に応じた作業を選べた。
	A－3－(3) 家族等との連携・支援		
16	A-3-(3)―① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	2.3	面会や帰宅ができない状況だった。リモート面会を実施した。
	A－3―(4) 地域生活への移行と地域生活の支援		
17	A－3－(4)－① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	2.3	コロナ流行期をさけて、必要な利用者の地域移行を推進した。見学なども実施した。
A-4 地域の生活困窮者支援			
18	A-4 ―(1)－① 地域の生活困窮者等を支援するための取組や事業を行っている。	2.2	他の救護施設と情報交換しつつ、必要な場合に利用者の施設移行を受け入れた。

21.「赤い羽根福祉基金」助成事業　救護施設先駆的実践シェア事業報告

「地域サロンと農地を活用した施設利用者の活動」

慈照園（静岡県）

(1)事業の概要（「事業に取り組む背景」「事業の目標」をお書きください。）

【事業に取り組む背景】

当園を退所し、地域で暮らしている方に、趣味や生きがいなく孤立している方が見られる。入園中から退園後まで継続して利用できる社会性や知識習得の場を提供したい。

【事業の目標】

サロン用貸事務所や農地を賃借して活動の場所を確保し、作業やクラブ活動、イベント等を用意することより、就業体験や余暇活動を通じて地域住民も含めた仲間づくりを行う。

地域住民に救護施設の取り組みを理解してもらう。

(2)施設の状況

所在地：静岡県浜松市中区鴨江三丁目４番３号
入所定員：50 名　平均年齢：52 才　居宅訓練事業 3 名実施
保護施設通所事業　通所定員：10 名（現員 5 名）　訪問定員：18 名（現員 16 名）
施設の特徴：浜松市中心部に近い住宅地の中にある施設です。20 代から 60 代で主に精神障害をもつ方が多く利用されています。

園内作業や外勤、クラブ活動、社会資源を活用した日中活動と、居宅訓練事業を活用した地域移行、通所事業を活用した地域生活継続支援に力を入れています。

(3)企画から実行までのプロセス（問題の着眼点と解決のための考え方等）

	①サロン事業 活動物件の選定と締結 ・物件契約（施設から徒歩 1 分圏内） ・電気、水道、電話契約 ・備品の準備 （テーブル、椅子、エアコン、掃除用品、調理用具等）	 サロン活動の拠点
	②農地を活用した活動 市民農園の申請 ・利用申込（徒歩 3 分圏内　100 ㎡程度） ・承認	 市民農園を法人で申請
4 月～翌 3 月	**① サロン事業** 〈内職作業〉企画立案　週 6 日実行	 輸送機器部品加工作業
	〈クラブ〉各クラブ月 1 回 ・茶道 ・書道 ・絵手紙（ボランティア） ・ヨーガ（ボランティア） ・手芸	 ボランティアによる 絵手紙クラブ
	〈サロン活動〉 ・料理教室（月 1 回） ・退園者交流会（年 1 回）	 農園でとれた野菜で料理教室

	②農地を活用した活動 ・土づくり ・苗の植え付け （ナス、キュウリ、トマト、サツマイモ、ダイコン） ・各種管理作業（水やり、肥料、間引き） ・収穫 ・販売（職員・民生委員） ・調理（給食・参加者への提供）	 サツマイモの収穫
11 月	**①サロン事業** **コーヒー教室の準備** ・講師の依頼：喫茶店経営経験のある元職員 ・イベント内容検討：コーヒーのいれ方教室 ・お知らせ（ビラ）の制作　配布（書式 1） ・近隣のお知らせは、民児協会合にて配布 ・退園者には、訪問サービスの時に配布 ・元職員には SNS（LINE）にてお知らせ ・材料の購入（書式 2）	 クラブ活動の作品を展示
12 月	**①コーヒー教室実施** ・会場設営（書式 2） ・受付、参加費の集金 ・講師の指導により、自分でレギュラーコーヒーをドリップして飲んでいただく ・参加者同士（住民と利用者）の交流ができるよう支援する。 **②農園** ・販売（コーヒー教室にて）	 コーヒー教室で地域の方と交流 赤大根１本 20 円で販売
1 月	**①退園者交流会の準備** ・起案書 ・お知らせ（ビラ）の制作　配布（書式 3）	
2 月	**①退園者交流会実施** ・会場設営（書式 2） ・材料の購入（書式 2） ・参加費の集金	

(4)担当者の苦心したポイントと解決方法

●コロナ禍以前は、クラブ活動の指導者としてボランティアが多数参加してくださったが、感染予防のためボランティアの受け入れが困難となった。またボランティアの高齢化により来られなくなった方も多く、世代交代も必要となっている。新規ボランティアの開拓が課題となっている。

●日常の交流もイベント開催においても、コロナ禍により地域住民への積極的な勧誘が困難な状況が続いている。今後の感染状況により、改善されることが期待される。

●コーヒー教室も、コロナ禍により、大勢の近隣住民に参加していただく事が難しかった。近隣へのチラシ配布、民生児童委員の会合にて告知、元職員への告知を行い来場につなぐことができた。コロナ禍収束の折にはもう少し大規模に告知集客することができると思う。

　昨年に引き続き 2 年目のコーヒー教室開催となった。準備にも慣れ、地域のお客様のリピーターができた。今後も継続することにより、施設利用者と地域住民の交流が深まると予想される。

●コーヒー教室の参加者には、施設利用者と地域住民より同額の１００円の参加費をいただいた。収益を重視せず、低額な設定により参加しやすさと多少の参加意識を持っていただく目的により設定したが、実施施設にて検討の必要がある。

●地域住民と施設利用者との交流には、慣れていない方がいるため、最初は職員が介入し支援をしていくことが必要だった。継続することにより、自然な交流ができていくと期待される。きっかけづくりとしてサロン事業が必要である。

●飲食物を提供するにあたり、営業許可や食品取扱届出事案に該当しないよう、材料機材は用意し、ボランティア指導の下、自分でコーヒーを淹れてもらう形式とした。

●農園作業を担う職員の確保に苦心した。事業の重要性を説明し理解を得た。また利用者には好評で、通常の内職（紙漉きのハガキの製作）より楽しいという声もあり、職員のモチベーションに繋がった。

(5)他の施設で取り組むためのメッセージ

　社会福祉法人の使命（精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築や公益的取り組み）を全職員に説明し理解と協力を得ることや、他機関とも協力して事業を行うことが必要です。

(6)予算・経費

費目・品名		金額(円)	詳細(内容・単価×個数など)
事業に要する経費	土地建物賃借料	1,200,000	賃料 @100,000×12ヵ月
	水道光熱費	120,000	水道・電気代 @10,000円×12ヵ月
	通信費	96,000	電話・Wifi使用料 @8,000円×12か月
	保険料	10,000	家財火災保険
	サロンイベント事業費	39,989	コーヒー教室材料費 11,554円 コーヒー教室講師謝礼 @5,000円×2日 退園者交流会食材費 @14,000円×1回 絵手紙教室等材料費 4,435円
	農園事業費	36,168	農地使用料 @12,480円×2面 肥料・資材費 11, 208円
	消耗品費	10, 000	消耗品費@833×12ヵ月
	雑費	10, 000	振込手数料@660×12回 他
	計	1,522,157円	